

# 令和元年度 社会福祉法人長寿会事業報告書



## 令和元年度 長寿会事業概要

### 【事業運営】

令和元年度は、改修工事を終えて、新しい設備環境の中で、各事業がスタートした。6月には、改修記念の長寿祭を行い、関係者を招き、記念式典と完成披露を行った。

また、6月の評議員会では、任期満了に伴う理事監事の選任を行い、新任理事2人を含む役員体制となった。

施設では、2年半に亘る、虐待防止のケア改善計画の取り組みがほぼ定着した。意識的に振り返りや検討ができるよう、チェックリスト、研修、第三者巡回等を継続して行うこととした。

2月末からは、新型コロナウイルスへの対応を迫られたが、感染予防対策を強化しつつ、施設及び、在宅利用者のサービス提供を継続して行った。役員会も、感染予防の配慮を行い、予定どおりに実施した。

重点目標とした経営の安定を図るため、利用者増に努めたが、施設、デイサービス、ホームヘルプともに、目標とした稼働率にいたらなかった。訪問介護（ホームヘルプ）事業については、サービス提供責任者の療養退職を機に、事業継続を検討した結果、人材確保と採算性は見込めないと判断し、今年度をもって事業を廃止することとした。

人材育成、定着については、今年度も、施設とデイサービス介護職の退職が9人あった。うち、採用から1年以内に退職した介護職が5人ある。新任介護職のOJTの課題、施設介護職の勤務体制等の見直しの必要性が再認識された。ホームヘルパー3人は、勤務の意向を確認し、施設、デイサービスの介護職に異動した。人材育成委員会で、個々の目標設定シートを活用した面談の実施や、職位職階別研修体系のまとめを行ったので、今後活用していく。

また、ホームページの更新等、事業活動の情報発信をリアルタイムに行うこととしていたが、施設改修に伴う大幅な修正に、集中して取り組む担当者を決められず、全く取り組めなかった。事業PRに大きな効果が期待できるので、実行できる体制を作り取り組みたい。

今後の長寿会の運営は、経営安定のため、利用者増が最優先である。人材育成・確保、職場環境・業務改善、PR活動等、抱える課題は多いが、長期的に継続して取り組めるよう、一つずつ具体策を講じて行く。

### 【決算の概要】

令和元年度、法人全体のサービス活動収益は347,530,850円で、前年度比6,866,192円の増であった。サービス活動費用は400,934,892円（前年度378,571,157円）で、当期活動増減差額は、△54,843,396円（前年度△36,248,377円）となった。

施設整備の会計処理を行い、次年度繰越活動増減差額は、433,526,034円（前年度434,773,876円）となった。令和元年度社会福祉充実残高（内部留保）に該当する金額はない。

令和元年度 社会福祉法人長寿会事業報告書

1 法人の概要

主たる事務所の所在地	山口県山陽小野田市大字小野田 11324 番地 10
代表者（理事長）の氏名	長 澤 孝 明
法人の認可年月日及び番号	昭和 5 2 年 9 月 2 8 日 厚生省社第 8 0 3 号
設 立 登 記 年 月 日	昭和 5 2 年 1 0 月 1 3 日

2 法人の事業の内容

(令和 2 年 3 月 3 1 日)

事業の種類	施 設 の 種 類	事業開始年月日	定 員	職 員 数
第 一 種 社会福祉事業	特別養護老人ホーム長寿園	昭和 53 年 4 月 1 日	82 人	59 (13) 人 (医師 1 含む)
第 二 種 社会福祉事業	老人短期入所事業	昭和 55 年 4 月 1 日	8 人	10(2) 人 1 人
	老人デイサービスセンター	昭和 59 年 12 月 1 日	30 人	
	老人居宅介護等事業	平成 2 年 1 月 1 日		
	老人介護支援センター	平成 3 年 1 月 1 日		
	障害福祉サービス事業	平成 18 年 10 月 1 日		
公益事業	居宅介護支援事業 地域包括支援センター事業 介護予防・日常生活支援総合事業	(認可年月日)		
		平成 27 年 12 月 11 日		3 人
		平成 27 年 12 月 11 日		1 人
		平成 29 年 4 月 1 日	5 人	1 人
収益事業	な し			
				( ) 書きは非常勤職員の再掲
				74 (15) 人

介護保険事業者指定の内容

事業の区分	事業の種類	定員	初回指定年月日	指定の更新年月日
指定居宅介護支援事業	居宅介護支援		平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
指定居宅サービス事業	訪問介護		平成 12 年 4 月 1 日	平成 26 年 4 月 1 日 (令和 2 年 3 月 31 日まで)
	介護予防訪問介護		平成 18 年 4 月 1 日	総合事業へ
	通所介護	30 人	平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
	介護予防通所介護		平成 18 年 4 月 1 日	総合事業へ
	短期入所生活介護	8 人	平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
	介護予防短期入所生活介護		平成 18 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
指定介護保険施設	介護老人福祉施設	82 人	平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
指定山陽小野田市総合事業	生活維持型 通所サービスA	5 人	平成 29 年 4 月 1 日	
	予防給付型 通所介護相当サービス		平成 30 年 4 月 1 日	
	予防給付型 訪問介護相当サービス		平成 30 年 4 月 1 日	

障害者総合支援法事業者指定の内容

事業の区分	事業の種類	初回指定年月日	指定の更新年月日
指定障害福祉サービス事業 (身体障害者)	居宅介護 重度訪問介護	平成 18 年 10 月 1 日	平成 30 年 10 月 1 日

### 委託事業等の状況

委託者	事業名
山陽小野田市	施設入浴サービス事業 緊急時短期入所サービス事業 障害者移動支援事業 地域包括支援サブセンター運営事業 要介護認定調査事業 介護予防支援業務
宇部市	予防給付ケアマネジメント
社会福祉法人純心聖母会	外部サービス利用型特定施設入所者生活介護における 居宅介護サービス（指定通所介護）

### 3 定款変更の状況

審議日程	申請年月日	認可年月日	変更内容
令和元年6月19日	令和元年6月25日 (届出)	令和元年6月28日 (山高第1223号)	一部改正 長寿園・明寿香園の建物面積の変更
令和2年2月14日	令和2年2月21日	令和2年2月28日 (山陽小野田市指令第15号)	一部改正 長寿園訪問事業所の廃止 (R2.4.1)

## 4 役員 の 状 況

(年度末 順不同)

	役職名	氏 名	年 齢	当初就任年月日	現就任年月日	任 期
1	理事長	長澤孝明	70	平成 20 年 4 月 1 日	令和元年 6 月 19 日	令和 3 年度の定時評議員 会の終結の時まで
2	理 事	長澤延明	86	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日	
3	”	西野 彰	79	平成 14 年 4 月 1 日	令和元年 6 月 19 日	
4	”	白石千代	70	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日	
5	”	平原麻清	78	平成 26 年 4 月 1 日	令和元年 6 月 19 日	
6	業務執行 理事	上村篤子	64	平成 24 年 4 月 1 日	令和元年 6 月 19 日	
計		6 人				
1	監 事	田村嘉輝	68	平成 24 年 4 月 1 日	令和元年 6 月 19 日	令和 3 年度の定時評議員 会の終結の時まで
2	”	田所 栄	66	平成 29 年 6 月 22 日	令和元年 6 月 19 日	
計		2 人				
1	評議員	秋本和美	67	平成 20 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年度の定時評議員 会の終結の時まで
2	”	小林伸夫	75	平成 20 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日	
3	”	原田美代子	71	平成 20 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日	
4	”	長尾純子	69	平成 22 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日	
5	”	中島嘉哉	61	平成 22 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日	
6	”	沖中幸人	70	平成 26 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日	
7	”	為近美代子	69	平成 26 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日	
8	”	山本成美	67	平成 26 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日	
計		8 人				

中里裕典評議員 令和元年 12 月 11 日退任 (逝去)

## 5 会議の開催状況

開催年月日	出席者	欠席者	議 題
元.5.29 理事会	理事5人 監事2人	0人 0人	<p>議案第1号 社会福祉法人長寿会定款の一部改正について</p> <p>議案第2号 平成30年度長寿会（本部）事業報告について</p> <p>議案第3号 平成30年度長寿会（本部）決算報告について</p> <p>議案第4号 平成30年度長寿園（施設）事業報告について</p> <p>議案第5号 平成30年度長寿園（施設）決算報告について</p> <p>議案第6号 平成30年度明寿香園（デイサービス）事業報告について</p> <p>議案第7号 平成30年度明寿香園（デイサービス）決算報告について</p> <p>議案第8号 平成30年度ホームヘルプ（訪問介護）事業報告について</p> <p>議案第9号 平成30年度ホームヘルプ（訪問介護）決算報告について</p> <p>議案第10号 平成30年度居宅介護支援事業報告について</p> <p>議案第11号 平成30年度在宅介護支援センター事業報告について</p> <p>議案第12号 平成30年度在宅介護支援センター会計（居宅介護支援事業含む）決算報告について</p> <p>議案第13号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について</p> <p>議案第14号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について</p> <p>議案第15号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について</p> <p>議案第16号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について</p> <p>議案第17号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について</p> <p>議案第18号 社会福祉法人長寿会理事の推薦について</p> <p>議案第19号 社会福祉法人長寿会監事の推薦について</p> <p>議案第20号 社会福祉法人長寿会監事の推薦について</p> <p>その他</p>



<p>元.6.19 定時評議員 会</p>	<p>評議員 9人 監事2人</p>	<p>1人 0人</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人長寿会定款の一部改正について  議案第2号 平成30年度長寿会（本部）事業報告について  議案第3号 平成30年度長寿会（本部）決算報告について  議案第4号 平成30年度長寿園（施設）事業報告について  議案第5号 平成30年度長寿園（施設）決算報告について  議案第6号 平成30年度明寿香園（デイサービス）事業報告について  議案第7号 平成30年度明寿香園（デイサービス）決算報告について  議案第8号 平成30年度ホームヘルプ（訪問介護）事業報告について  議案第9号 平成30年度ホームヘルプ（訪問介護）決算報告について  議案第10号 平成30年度居宅介護支援事業報告について  議案第11号 平成30年度在宅介護支援センター事業報告について  議案第12号 平成30年度在宅介護支援センター会計（居宅介護支援事業含む）決算報告について  議案第13号 社会福祉法人長寿会理事の選任について  議案第14号 社会福祉法人長寿会理事の選任について  議案第15号 社会福祉法人長寿会理事の選任について  議案第16号 社会福祉法人長寿会理事の選任について  議案第17号 社会福祉法人長寿会理事の選任について  議案第18号 社会福祉法人長寿会理事の選任について  議案第19号 社会福祉法人長寿会監事の選任について  議案第20号 社会福祉法人長寿会監事の選任について</p> <p>その他</p>
-------------------------------	----------------------------	------------------	---

<p>元.6.19 理事会</p>	<p>理事6人 監事2人</p>	<p>0人 0人</p>	<p>議案第1号 理事長の選任について 議案第2号 業務執行理事の選任について  その他</p>
<p>元.11.20 理事会</p>	<p>理事6人 監事2人</p>	<p>0人 0人</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人長寿会就業規則の一部改正について 議案第2号 社会福祉法人長寿会給与規程の一部改正について 議案第3号 特別養護老人ホーム長寿園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について 議案第4号 特別養護老人ホーム長寿園短期入所生活介護運営規程の一部改正について 議案第5号 特別養護老人ホーム長寿園介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について 議案第6号 デイサービス施設明寿香園通所介護運営規程の一部改正について 議案第7号 デイサービス施設明寿香園 山陽小野田市介護予防・日常生活支援総合事業予防給付型（通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について 議案第8号 デイサービス施設明寿香園 山陽小野田市介護予防・日常生活支援総合事業生活維持型（通所型サービスA）運営規程の一部改正について 議案第9号 長寿園訪問介護事業運営規程の一部改正について 議案第10号 長寿園訪問介護事業所 山陽小野田市介護予防・日常生活支援総合事業予防給付型（訪問介護相当サービス）運営規程の一部改正について 議案第11号 長寿園訪問介護事業所 指定居宅介護(重度訪問介護)事業運営規程の一部改正について  その他 令和元年度上半期事業報告</p>

<p>2.1.22 理事会</p>	<p>理事6人 監事2人</p>	<p>0人 0人</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人長寿会長寿園訪問介護事業所の廃止について</p> <p>議案第2号 社会福祉法人長寿会定款の一部改正について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人長寿会長寿園訪問介護事業所運営規程の廃止について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人長寿会長寿園訪問介護事業所 山陽小野田市介護予防・日常生活支援総合事業予防給付型(訪問介護相当サービス)運営規程の廃止について</p> <p>議案第5号 社会福祉法人長寿会指定障害福祉サービス事業運営規程の廃止について</p> <p>議案第6号 令和元年度社会福祉法人長寿会第1回臨時評議員会の開催について</p> <p>その他</p>
<p>2.1.30 臨時評議員会</p>	<p>評議員 6人</p>	<p>2人</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人長寿会定款の一部改正について</p> <p>その他</p>

<p>2.3.27 理事会</p>	<p>理事6人 監事2人</p>	<p>0人 0人</p>	<p>議案第1号 特別養護老人ホーム長寿園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について</p> <p>議案第2号 特別養護老人ホーム長寿園短期入所生活介護運営規程の一部改正について</p> <p>議案第3号 特別養護老人ホーム長寿園介護予防短期入所生活介護運営規程の一部改正について</p> <p>議案第4号 デイサービス施設明寿香園通所介護運営規程の一部改正について</p> <p>議案第5号 デイサービス施設明寿香園山陽小野田市介護予防・日常生活支援総合事業予防給付型（通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第6号 デイサービス施設明寿香園山陽小野田市介護予防・日常生活支援総合事業生活維持型（通所型サービスA）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第7号 令和2年度長寿会（本部）事業計画について</p> <p>議案第8号 令和2年度長寿会（本部）会計当初予算について</p> <p>議案第9号 令和2年度長寿園（施設）事業計画について</p> <p>議案第10号 令和2年度長寿園（施設）会計当初予算について</p> <p>議案第11号 令和2年度明寿香園（デイサービス）事業計画について</p> <p>議案第12号 令和2年度明寿香園（デイサービス）会計当初予算について</p> <p>議案第13号 令和2年度居宅介護支援事業計画について</p> <p>議案第14号 令和2年度在宅介護支援センター事業計画について</p> <p>議案第15号 令和2年度在宅介護支援センター（居宅介護支援事業を含む）会計当初予算について</p> <p>議案第16号 令和2年度社会福祉法人長寿会定時評議員会の開催について</p> <p>その他 令和元年度社会福祉法人長寿会決算見込み</p>
-----------------------	----------------------	------------------	--

## 6 監事監査の状況

監査年月日	監事氏名	指 摘 事 項	改 善 状 況
元.5.21	田村嘉輝 田所 栄	特になし	

## 7 行政実地指導の状況

監査年月日	指 摘 事 項	改 善 状 況
	今年度なし	

## 8 登記の状況

登記事項	登記年月日	内 容
1 建物面積の変更	令和元年6月3日	長寿園 2,730.61 m <sup>2</sup> 明寿香園 508.20 m <sup>2</sup>
2 理事長の決定	令和元年6月25日	理事長 長澤孝明
3 資産総額の変更	令和元年6月25日	資産額 7億2,871万528円

9 規程の制定、変更の状況

審議年月日	施行日	制定、改正事項の概要内容	
元.11.20	元.12.1	就業規則の一部改正	(改正内容) ①介護職の勤務時間の変更 遅出2を削る ②調理員の勤務時間の変更 「パート1」「パート2」を削り、「パート6時45分から13時45分まで、ただし、栄養士不在の時は、30分延長する。」に改める。
"	元.11.20 (元.10.1適用)	給与規程の一部改正	(改正内容) 別表8 臨時職員並びに非常勤職員給料の変更 ① 介護職 「1時間 830~1,400円」 ② 調理員 「1時間 830~1,200円」
"	元.11.20 (元.10.1適用)	特別養護老人ホーム長寿園介護老人福祉施設運営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 介護職員 34人 ② 利用料等の変更 居住費 多床室1日当たり855円 個室 1日当たり1,171円 食費 1日当たり1,392円
"	元.11.20 (元.10.1適用)	特別養護老人ホーム長寿園短期入所生活介護運営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 介護職員 34人 ②介護予防短期入所生活介護の利用料その他の費用の額の変更 滞在費 1日当たり855円 食費 朝食380円昼食510円夕食502円
"	元.11.20 (元.10.1適用)	特別養護老人ホーム長寿園介護予防短期入所生活介護運営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 介護職員 34人 ②介護予防短期入所生活介護の利用料その

			他の費用の額の変更 滞在費 1日当たり 855円 食費 朝食 380円 昼食 510円 夕食 502円
"	元.11.20 (元.10.1適用)	デイサービス施設明寿 香園通所介護事業運営 規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 看護職員          3人 介護職員          6人 機能訓練指導員 兼務3人 ②利用料等の変更 食費              510円
"	元.11.20 (元.10.1適用)	デイサービス施設明寿 香園山陽小野田市介護 予防・日常生活支援総 合事業予防給付型(通 所介護相当サービス) 運営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 看護職員          3人 介護職員          6人 機能訓練指導員 兼務3人 ②利用料等の変更 食費              510円
"	元.11.20 (元.10.1適用)	デイサービス施設明寿 香園山陽小野田市介護 予防・日常生活支援総 合事業生活維持型(通 所型サービスA)運営規 程の一部改正	(改正内容) ①利用料等の変更 食費              510円
"	元.11.20 (元.7.1適用)	長寿園訪問介護事業運 営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 訪問介護員          非常勤2人
"	元.11.20 (元.7.1適用)	長寿園訪問介護事業所 山陽小野田市介護予 防・日常生活支援総合 事業予防給付型(訪問 介護相当サービス)運 営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 訪問介護員          非常勤2人

"	元.11.20 (元 7.1 適用)	長寿園訪問介護事業所 指定居宅介護(重度訪 問介護)事業運営規程 の一部改正	(改正内容) ①従業者の職種、員数及び業務の内容の変更 サービス提供職員 4人
2.1.22	2.3.31	社会福祉法人長寿会長 寿園訪問介護事業所運 営規程の廃止	
"	2.3.31	社会福祉法人長寿会長 寿園訪問介護事業所山 陽小野田市介護予防・ 日常生活支援総合事業 予防給付型(訪問介護 相当サービス)運営規 程の廃止	
"	2.3.31	社会福祉法人長寿会指 定障害福祉サービス事 業運営規程の廃止	
2.3.25	2.4.1	特別養護老人ホーム長 寿園介護老人福祉施設 運営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 看護職員 4人 介護職員 33人
"	2.4.1	特別養護老人ホーム長 寿園短期入所生活介護 運営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 看護職員 4人 介護職員 33人
"	2.4.1	特別養護老人ホーム長 寿園介護予防短期入所 生活介護運営規程の一 部改正	(改正内容) ①職員数の変更 看護職員 4人 介護職員 33人



”	2.3.25 (2.3.1 適用)	デイサービス施設明寿 香園通所介護事業運営 規程の一部改正	(改正内容) ①表示の変更 介護職員 5人(兼務含む)
”	2.3.25 (2.3.1 適用)	デイサービス施設明寿 香園山陽小野田市介護 予防・日常生活支援総 合事業予防給付型(通 所介護相当サービス) ” 運営規程の一部改正	(改正内容) ①表示の変更 介護職員 5人(兼務含む)
”	2.3.25 (2.3.1 適用)	デイサービス施設明寿 香園山陽小野田市介護 予防・日常生活支援総 合事業生活維持型(通 所型サービス A) 運営 ” 規程の一部改正	(改正内容) ①表示の変更 介護従事者 2人(常勤1・兼務1)

1 0 資産(土地・建物)の状況 別紙1のとおり

1 1 借入金の状況

借入額	借入年月日	年度末借入残額
50,000,000円	平成31年4月1日	44,996,000円

### 1.2 法人による利用者負担額減免の状況

事業の区分	対象者数 (人)	減免額 (円)
介護老人福祉施設	1	131,460
短期入所生活介護	0	0
通所介護	0	0
訪問介護	0	0
合 計	1	131,460

### 1.3 寄附金の状況

会計区分	件数	金 額 (円)	備 考
長寿会 (本部)	9	840,000 円	理事長 500,000 円 その他 340,000 円

### 1.4 苦情対応の状況

事業の種類	件数		事業所内 解決件数	備 考
	元年度	30年度		
介護老人福祉施設	3	4	3	説明の仕方が不適切 1件 実習生に私的な話をする 1件 認知症対応が不快 1件
短期入所生活介護	3	1	3	電話応答が遅い 1件 説明・対応が悪い 2件
通所介護	2	1	2	請求書の送付先間違い 1件 送迎車の運転の仕方 1件
訪問介護	4	3	4	掃除の仕方が悪い 4件
支援センター／居宅介護	1	0	1	契約解除が納得できない 1件
合 計	13	9	13	

○苦情解決委員会 令和元年8月1日(木)開催

## 1 5 事故の状況

事業の種類	元度		30年度 件数	備 考
	件数	保険適用		
介護老人福祉施設	5	入院0	5	骨折2 負傷3
短期入所生活介護	2	0	1	転倒1 離園1
通所介護	6	0	5	誤薬2 転倒4
訪問介護	0	0	0	
支援センター／居宅介護	0	0	0	
合 計	13	0	11	

※医療機関に受診又は入院した件数

## 1 6 虐待防止・身体拘束廃止の取り組み

虐待防止委員会の開催	4・7・10・2月	改善計画の実施状況確認 チェックリストの見直し 課題確認
虐待の芽チェックの実施	9回	R1.8～新様式
第三者委員の巡回	4・7・10・1月	
施設内研修	施設 4・8・11月 デイ 2・3月	

## 1 7 人材確保・人材育成

### ○職員の採用状況

職種	人数	年月日	紹介元
調理員	2	H31.4.1	学校1 紹介業者1
施設機能訓練指導員	1	R1.4.15	協力病院 理学療法士
施設介護職員	1	R1.6.10	ハローワーク
施設介護職員	1	R1.9.24	紹介業者
デイ看護兼介護兼訓練指導員	1	R1.11.1	デイ職員

### ○人材育成委員会 月1回開催

2/5 介護労働安定センターアドバイザー廣瀬春美氏 人材育成についての指導を受けた。

## 資産（土地・建物）の状況

令和元年3月31日現在

基本財産	所在地（地番、家屋番号）	地目、用途及び構造	面積 (㎡)	担保提供 の有無	備考
土地	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 10	宅地 長寿園敷地	6,497.95	無	平成 23 年 6 月中川氏から購入。登記済
	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 16	〃	490.95	〃	〃
	山陽小野田市大字小野田字三番溜井 6111 番 34	宅地 明寿香園敷地	1,193.56	〃	平成 29 年 2 月山陽小野田市から購入。登記済
	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11337 番 3	山林 長寿園敷地	5.71	〃	〃
	4 筆		8,188.17		
建物	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 10 (長寿園)	鉄筋コンクリート造陸 屋根平屋建 鉄骨造鋼板葺平屋建	1,701.41	無	昭和 53 年 3 月 17 日新築  平成 30 年 8 月 15 日増築 (ホール 170.61 ㎡)
	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 10 (長寿園)	鉄筋コンクリート造陸 屋根平屋建  鉄骨造鋼板葺平屋建	1,029.20	無	昭和 57 年 3 月 5 日新築 平成 4 年 12 月 21 日増築 (ショートステイ棟 178.15 ㎡) 平成 30 年 8 月 30 日増築 (個室待浴等 236.21 ㎡)
	山陽小野田市大字小野田字三番溜井 6111 番 34 (明寿香園)	鉄筋コンクリート・鉄骨 ルーフィング葺平屋建	508.20	無	昭和 59 年 11 月 7 日新築 明寿香園 411.80 ㎡ 平成 2 年 12 月 3 日増築支援 センター 96.4 ㎡ (16 ㎡を平成 31 年 4 月 1 日ヘルパー事務室に転用)
			3,238.81	長寿園 2,730.61 ㎡ 在宅計 508.2 ㎡	

別紙 1 -(2)

借地

令和元年3月31日現在

所在地	地目及び用途	面積 (㎡)	土地借用に係る契約・利用権の状況			
			契約年月日	相手先	利用権 登記	借地料 年額 (円)
山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 1321 番 10	宅地 職員駐車場	525.00	H28.11.20	山陽小野田市	無	265,062
山陽小野田市大字小野田字平地 1321 番 5	宅地 } 宅地 } 宅地 } 職員駐車場	586.75	H25.11.20	大下明美	無	} 50万円
" 1322 番 10		2.72	"	"	無	
山陽小野田市大字小野田字三番溜井 6111 番 19		77.49	"	"	無	
		1,191.96				766,805



# 令和元年度 特別養護老人ホーム長寿園事業報告書





## 令和元年度特別養護老人ホーム長寿園事業報告書

令和元年度は、施設改修工事が終わり、新しい施設で事業を開始した。前年度に比べ、新入園者数は倍以上であったが、利用者の重症化や、健康状態が不安定な利用者の割合が高く、新入園者とほぼ同数の退園者があり、思うように稼働率を改善させることはできなかった。

重点目標にあげた「夕食時間を見直し、提供体制を整える」については、介護リーダー会で協議をし、家族にアンケートを取り、意向調査を行った。全介助者が多い為、開始時間は変更できなかったが、夕食時間帯はゆっくり取るように、心がけた。

「介護記録ソフトを導入し、軌道に乗せる」は、複数社の説明を聞き、実際に使用している施設へ見学にも行ったが、当施設内での検討が不十分なため（費用対効果等）、導入には至らなかった。来年度1年かけて、課題の洗い出しや導入後の効果について検討し、導入への道筋を作る。

「家族へ定期的に利用者の状況を伝える方法を確立する」は、担当介護職員が、定期的に（3～4か月に1回）身元引受人に、利用者の顔写真付きの近況メッセージを郵送するようにし、喜ばれた。

「園内研修の参加率を高め、資質向上に努める」は、同じ内容の研修を2回、時間帯をずらして実施することにより、参加人数は増えた。

実績目標である「施設月平均80人 入所率97.5%」は、目標を大きく下回った。実績は、1日平均58.8人、入所率は71.8%となった。新入園は、退院勧告等行き場所のない人を優先的に対応した。特例入所も2人受け入れた。

「ショート月平均6人」は、目標を上回ることができた。実績は、1日平均8.0人（30年度4.6人）、利用率は101%（30年度42%）であった。ショートステイの定員は減少したが、施設の空床を利用し、ケアマネージャーからの希望にできるだけ沿うようにして、積極的に受け入れた。

基本的な感染症予防対策の徹底により、インフルエンザ、ノロウイルスの発症はなかった。年度末には、新型コロナウイルスへの厳重な対策を実施した。情報収集に努め、外部から感染源を持ち込まないように、面会制限や職員の感染予防策を徹底して行った。

## 1 施設の概要

名称	特別養護老人ホーム 長寿園
住所	山陽小野田市大字小野田 1 1 3 2 4 番地 1 0
事業開始	昭和 5 3 年 4 月 1 日
サービス種類	<p>特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設Ⅱ多床室）74人 （介護老人福祉施設従来型個室）8人</p> <p>夜間職員配置 あり サービス提供体制強化 あり 個別機能訓練 あり 看護体制 あり 口腔機能維持管理体制 あり 若年性認知症入所者受入 あり 身体拘束廃止取組 あり 看取り介護体制 あり 介護職員処遇改善 あり</p> <p>ショートステイ 8人（併設型短期入所生活介護Ⅱ多床室） （併設型介護予防短期入所生活介護Ⅱ多床室）</p> <p>夜間職員配置 あり 機能訓練指導體制 あり 送迎体制 対応可 サービス提供体制強化 あり 介護職員処遇改善 あり</p>
委託事業	<p>施設入浴サービス（山陽小野田市） 緊急時短期入所サービス（山陽小野田市）</p>
建物	<p>鉄筋コンクリート平屋建 2, 730. 61㎡ 居室 4人部屋：19室 2人部屋：3室 1人部屋：8室 食堂4 訓練室 浴室（特浴 リフト付き個浴4） デイルーム ホール</p>

## 2 サービス提供体制（職員配置）

新規採用は、5人（介護2人 機能訓練指導員1人 調理2人）、退職は8人（介護7人 調理1人）であった。

今年度は前年度に比べ、退職者が半数程度に減ったが（30年度15人）、介護部門は年度中に採用した職員が2人退職し、新人教育・職員定着の難しさを痛感した。夜勤のできる介護職員が退職して少なくなり、日勤帯が、パート介護職員のための勤務となったり、土日祝日は少ない人数で勤務に当たる日もあった。そのため、職員の残業が増えており、勤務の見直しが、喫緊の課題として浮き彫りになった。

看護部門は、1人育児休暇中のため、3人体制で対応した。オンコールや休日出勤の負担が大きかった。

給食部門は、新任職員を2人加え、新しい給食提供方法にもスムーズに慣れてもらった。

負傷等による1ヶ月以上の休職は、1人（介護職 令和2年2月～）だった。

令和元年度末職員人数（人）

園長1	事務長1	事務主任1	事務員2	主任相談員1（介護支援専門員兼務）
生活相談員1（介護支援専門員兼務）	医師1（非常勤1）			
介護主任1	総リーダー2	ユニットリーダー4	介護職員26（パート6）	
看護主任1	看護職員2	機能訓練指導員（看護師）1		
栄養士（給食主任）1	調理員8（パート3）			
清掃員1（パート1）	洗濯員2（パート1）	夜間警備員2（非常勤2）		
計59人（パート非常勤13）				（）内書は再掲

看護・介護職員と利用者の割合（令和元年度年間集計）

	常勤	延在籍	非常勤	計	看護介護職員合計	看護介護職員利用者の割合
	人	常勤換算	人	常勤換算		
介護職員	30	26.1	7	4.5	33.6	2.0 : 1
看護職員	3	3.0	0	0		
年度 利用実績	施設	21,556人		24,486人 366日	= 66.90人	
	短期	2,930人				

### 3 サービスの実施状況

#### (1) 利用実績

##### ①施設入所

延利用者数は21,556人(30年度22,491人)、入所率71.8%(30年度75.1%)であった。新入所者33人のうち、在宅からの入所は13人で、当園のショートステイを利用したことのある利用者は6人だった。他市・他県からの入所も、家族環境などを鑑み、優先的に受け入れた。

退所者は30人(30年度32人)で、死亡退園者は22人、病院入院・加療継続7人で、要介護度の改善が1人であった。

入院は21人(30年度16人)で、延べ367日間(30年度586日)。入院中に退院できない場合多く、できるだけ速やかに退園手続きを行った。

入所者の平均介護度は、3.71(30年度3.83)、新入所者の平均介護度は3.70(30年度3.67)、退所者平均介護度は3.87(30年度4.04)であった。

別表1 施設利用状況

別表2 入退園者の状況

##### ② 短期入所(ショートステイ)

延べ利用者数は2,958人(30年度1,689人)、1日平均8.0人。利用率は、101.0%(30年度42%)であり、大幅に増加した。1か月以上の長期間利用する利用者が多かったためと思われる。

平均介護度は2.24(29年度2.64)であった。

別表3 ショートステイ利用状況

##### ③ 入浴サービス(山陽小野田市委託事業)

年間実人数1人(30年度1人)、延べ20回(30年度14回)実施した。

別表4 入浴サービス利用状況

## (2) サービス内容

### 【介護】

#### ①利用者とのかかわり

日々のケアの中で、積極的にあいさつ・声掛け等のコミュニケーションに心掛けた。また、レク活動や創作活動を通して、関わりの時間を増やした。関わりの中で得た情報は、ミーティングや会議を通して、ユニット間で共有できるように努めた。

#### ②家族とのかかわり

面会時、積極的にコミュニケーションを図ることに努めた。また、必要時には電話連絡を行い、利用者の希望を伝えると共に、意向に添えるケアに努めた。

#### ③接遇

あいさつ、ふるまい、言葉遣い等を意識し、ケアを行った。しかし、虐待の芽チェックリストの結果からも、スピーチロックや職員が声を荒げる場面、丁寧な対応ができないことがあった。

#### ④認知症ケア

認知症状のある利用者に対しては、個々の状態に合わせたケアに努めた。ユニット内で話し合い、統一したケアに努めたが、利用者の繰り返す言動や、複数の利用者を限られた人員で対応することに苦慮する場面が増え、ストレスを抱える職員も増えている。ケア体制の見直しや職員のストレス対策に取り組んでいきたい。

#### ⑤看取りケア

看取りケア以前からの関わりを大切にし、利用者や家族の意向確認を行い、寄り添うケアの実施に努めた。

#### ⑥業務改善

ケアの質を高めること、業務効率を意識し、業務の見直しを行った。介護業務マニュアルの見直しも行ったが、夕食時間の変更はできなかった。

#### ⑦食事

日々の摂取量と咀嚼、嚥下、嗜好の把握を行った。必要時には、看護・給食部門と協議を行い、利用者の状態に応じた対応に努めた。また、正しい姿勢での食事が行えるよう、ポジショニングと利用者のペースに合わせた介助を行った。

#### ⑧入浴

個浴・特浴共に、入浴日を増やすことで、週2回の入浴を行った。入浴が実施できない利用者については、シャワー浴や清拭、更衣、足浴等の代替方法を実施し、身体の清潔保持に努めた。全身状態の把握を行い、看護師と連携し、スキンケアに努めた。

#### ⑨排泄

排泄の機能、パターン等を把握し、可能な限りトイレでの排泄を行った。利用者の状態に応じて、スキンケア方法の変更や、排泄物品・排泄介助回数を見直しを随

時行い、利用者が快適に過ごせるよう努めた。便秘気味な利用者の排泄状況を把握し、看護師と連携し、排泄リズムが取れるように努めた。

#### ⑩暮らし

起床から就寝まで、個々の生活リズムや、健康、心身状態に応じたケアに努めた。

#### ⑪環境

日常清掃、介護機器等の点検を行い、清潔で安全な生活環境を整えるよう努めたが、居室棚等の整理整頓が不十分だった。

#### ⑫口腔ケア

訪問歯科医の指導を受け、個々に応じた口腔ケアを行った。また、必要に応じて、受診につなぎ、早期発見・早期治療を行うことで、口腔内の健康保持に努めた。

#### ⑬事故

事故は158件(30年度201件)であった。介護上の事故は41件であった。転倒やベッドサイドからの滑り落ちが68件と最も多かった。脆弱な皮膚の為、傷や内出血が生じるケースが多く見られた。誤薬事故が2件あり、服薬マニュアルの見直しとマニュアルの徹底を行った。

#### ⑭身体拘束

なし

### 【給食】

#### ①栄養管理

年間栄養摂取状況は、セントラルキッチン方式による給食提供を年間通して行い、摂取エネルギーやたんぱく質等、問題なく目標を達成できた。また、摂取量の少ない方、褥瘡ができています方、できやすい方に対して、個々に合わせた栄養補助食品を他部署と連携して、提供することができた。

#### ②調理

新しい給食提供方法にも慣れ、異物混入等なく安全に利用者に合わせて食事形態で、食事を提供することができた。また、新たな食種であるゼリー食の提供も行うことができた(現在対象者なし)。

#### ③清潔

大量調理施設衛生管理を徹底し、食材、器具等の清潔な取り扱いと、作業手順に気を付けた。

#### ④災害時対策

食中毒・災害時に迫る相互援助協定に関する会議を行い、非常時に適切に対応できるようにした。

別表5 年間給食実施状況表

## 【看護】

### ①健康管理

健康診断を年 1 回、定期的に実施した。診断結果は、文書にて家族へ送付した。新規入所者には、入所後速やかに感染症の有無・健康診断を実施し、健康状態の把握に努めた。

疾病管理は、長沢医師の判断で他医療機関に紹介受診されるケース以外に、家族希望で他院を受診するケースが増えている。

### ②医療的ケア

看護師管理の医療的業務は、処置件数 4, 461 件（平均 12 件/日）。輸液実施件数 63 件（20 人）であった。胃ろう対象者は、年度末現在 1 人（30 年度 1 人）、痰吸引対象者は、なかった（30 年度なし）。

### ③看取りケア

尊厳ある最期が迎えられるように、他職種協働のもと、看取りケアの質の向上に努めた。例年に比べ、今年度は、容態が悪化した時に、自然体の看取りではなく、医療機関での精密検査や延命治療を希望されるケースが多かった。退園者 30 人のうち、22 人が死亡退園（うち看取りケア 20 人 330 日）、7 人が入院加療による退園であった。

### ④感染症対策

流行時期から、換気などの基本的な感染予防策を実施し、インフルエンザ・ノロウイルス共に、発生はなかった。職員 2 人がインフルエンザに罹患したが、他者への感染拡大はなかった。

### ⑤褥瘡予防

褥瘡の発生は 11 件（30 年度 16 件）。その内、入園前から既に、発症していたケースが 5 件あった。

## 別表 6 受診・入院の状況

## 【介護支援専門員】

### ①ケアプラン

特別な変更がない限り、要介護認定時期に合わせて、6 ヶ月ごとに定期的に行った。作成したプラン一式は家族へ送付し、同意を得た。

ターミナル（看取り）プランについては、速やかに立案し、家族面会時に説明、同意を得て、利用者・家族が穏やかに過ごせるよう援助した。

新規入所者に対しては、「当面のケアプラン」を作成し、入所時に、家族にケア方針を示した。

## ②実習受け入れ

できるだけ、多くの実習生の受け入れを行った。2月以降新型コロナウイルス感染予防のため、受け入れを断ったものもあった。

### 別表7 実習・施設見学の受け入れ状況

#### 【相談員】

2人の相談員で、相談、連絡、調整を行い、できるだけ利用者家族、ケアマネからの要望に対応した。

#### ①相談援助

利用者及び家族からの問い合わせや相談、代行手続きを行い、適切な対応に努めた。

#### ②家族との関係

家族談話会を実施し、20家族25人の参加があった(30年度23家族30人)。今年も、看取り関する内容にし、ビデオを視聴し、グループで意見を出し合った。

毎月定期的に、事務文書や連絡文書、本人宛の文書等を送付した。

外出の実人数は10人(30年度14人)、外泊の実人数は0人(30年度1人)、外出日数は28日間(30年度27日)であった。年々人数、回数ともに減少している。

面会は、年間4,474人(30年度5,496人)で、3月以降、面会を制限したことも影響し、減少している。

#### ③ショートステイ

長期利用者を積極的に受け入れ、空床をできるだけ少なくした。荷物の管理や薬の確認等に、かなりの時間が必要であった。また、感染症の流行する時期には、利用者家族に直接、注意喚起を行った。

#### ④ボランティア受け入れ

介護ボランティア活動制度『いきいき介護サポーター事業』は、引き続き、登録施設として、ボランティアの受け入れを行った。

3月には、新型コロナウイルス感染予防の為、受入を中止した。

#### ⑤交流行事

ユニット単位での行事や、個別外出に力を入れた。

#### ⑥施設入浴サービス

新たなサービス希望者はなく、女性1人を2週間に1回、希望通り受け入れた。

別表 8 外出・外泊の状況

別表 9 面会状況

別表10 ボランティアの来園状況

別表11 年間行事・施設訪問の状況



## 【事務】

長寿園の窓口として、親切・丁寧・迅速な接客と電話対応に努めた。車いすの利用者が玄関から外に出て、受傷することがあり、今後一層、窓口（来園者）の出入りについて注意を向け、対応していきたい。

## 【主任者会】

### ①サービス推進

月1回開催し、園全体の状況把握と共通認識、協議検討を行った。

### ②職員の研修計画

#### i 施設外研修

できるだけ多く受講してもらったが、研修受講者の復命方法が課題である。

今年度は、中国大会と全国大会で、看取りの取り組みの実践発表を行った。他施設の取り組みや、国の動向について具体的に知ることができ、大きな刺激となった。

#### ii 施設内研修

主任者会が年間計画に沿って、必要な内容を検討し、計画・実施した。

研修日を2回設定し、時間帯を夜間だけでなく、日中にも設定し、子育て中の職員等が参加しやすいようにした。

#### iii 新任研修

新任職員は介護2人、機能訓練指導員1人、給食2人であった。計画書を事前に作成し、初日から2～3日で研修を終え、現場OJTで教育を行った。講師（職員）の都合上、すぐに実施できない講義もあったが、新人期間中には修了した。

### ③語りカフェ

職員が自由に語り合う場の提供として実施していたが、参加者が減り、存続理由が無くなった為、年度途中で終了した。

別表1 2 施設外研修の参加状況

別表1 3 施設内研修の実施状況

別表1 4 新人職員研修の実施状況

## 【委員会】

### ①人材育成プロジェクト委員会

階層職域別役割及び研修体系表を、1年通して作成した。また、「目標設定シート」の様式や活用方法の見直しを年度末に行った。

### ②看取りケア委員会

毎月委員会を開催し、看取りの過程（ステージ）にある利用者を把握した。

③医療的ケア委員会

開催しなかったが、医療依存度の高い利用者や新入園者の受入れについて、その都度医師・看護師と相談して進めた。

④認知症ケア委員会

介護リーダー会主導で、研修を開催し、職員への意識付けを図った。

⑤その他の委員会

年度当初に活動内容を把握し、年度途中に振り返りを行いながら、業務の検討協議等を行った。

別表 1 5 職員会議の実施状況

別表 1 6 委員会の活動状況

4 安全・防災対策・環境衛生の状況

日常業務の中で、手洗い、清掃、器具の衛生的な取り扱い等を徹底した。改修工事後の為、大掃除は行っていない。寝具の日光消毒は定期的に行った。

防災訓練及び業者委託の点検・消毒は、下記のとおり実施した。

防災 訓練	夜間想定消防訓練	7月18日 2月12日	2回
	地震想定防災訓練	9月11日	1回
	消防設備の説明 消火器・消火栓の取扱説明	7月18日	1回
新任職員対象 消火設備の取り扱い等の研修		新人研修の際ごと	2回

設備 点検	消防設備の点検	2回	藤中ポンプ店
	電気設備の点検	7回	中国電気保安協会

害虫駆除	調理室ゴキブリ駆除	12回	山口県薬
	園内ゴキブリ駆除	2回	山口県薬 4・10月
	建物周囲害虫駆除	1回	山口県薬 5月
	園内ダニ駆除	1回	山口県薬 6月3日間

## 5 入所申込者の状況

入所検討委員会は7月と1月に開催し、検討結果を速やかに申込者に通知した。新規申込みは、年間を通じてあり、施設見学と一緒にいき、施設の理解を深めてもらった。

退院勧告や退院期限間近な利用者の場合は、優先的に入所につなげた。新規申込者は、医療依存度が高い者、退院勧告者が多く、家族に、病院との違いを理解していただくまでに、時間がかかったケースもあった。

入所中の利用者が、要介護2の判定を受け、特例入所で再入所を行ったケースが2件あった。

委員会開催日	既申込者	新申込者	検討者 (入所待機)	備考
令和元年7月31日	37人	42人	42人	死亡取消等25人
令和2年1月30日	38人	26人	24人	死亡取消等22人

## 6 利用者の状況 (令和2年3月31日現在 62人)

別表17 年齢別状況

別表18 在園期間の状況

別表19 生活の状況

# 別表 1

## 施設利用状況

令和元年度

	令和元年度												構成比				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		合計			
定員	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	366	366	366	30,012
介護1	60	62	30	31	31	30	31	30	31	31	0	0	367	367	367	367	1.7%
介護2	90	93	135	124	119	90	93	120	124	155	164	124	1,431	1,431	1,431	1,431	6.6%
介護3	439	473	489	516	475	513	553	504	559	557	626	757	6,461	6,461	6,461	6,461	30.0%
介護4	951	948	764	800	844	829	868	817	760	730	650	678	9,639	9,639	9,639	9,639	44.7%
介護5	249	264	300	310	289	294	279	300	340	343	349	341	3,658	3,658	3,658	3,658	17.0%
延人数合計	1,789	1,840	1,718	1,781	1,758	1,756	1,824	1,771	1,814	1,816	1,789	1,900	21,556	21,556	21,556	21,556	100%
1日平均人数	59.6	59.3	57.2	57.4	56.7	58.5	58.8	59.0	58.5	58.5	61.6	61.2	58.8	58.8	58.8	58.8	
入所率(%)	72.7	72.3	69.8	70.0	69.1	71.3	71.7	71.9	71.3	71.4	75.2	74.7	71.8	71.8	71.8	71.8	
入院人数	1	1	1	2	3	1	1	1	3	5	1	1	21	21	21	21	
日数	7	20	20	44	50	26	16	30	47	70	17	17	364	364	364	364	
内加算対象日数	6	0	6	6	5	6	6	0	7	18	6	0	66	66	66	66	
内加算無日数	1	20	14	38	45	20	10	30	40	52	11	17	298	298	298	298	
外泊人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入所人数	3	3	3	2	5	3	2	2	2	4	2	2	33	33	33	33	
初期加算日数	82	93	46	66	79	111	71	49	52	65	133	54	901	901	901	901	
退所人数	1	5	2	5	4	3	0	2	2	2	3	1	30	30	30	30	
看取加算人数	0	3	1	6	3	2	0	2	2	0	3	0	22	22	22	22	
日数	0	53	21	84	66	57	0	11	22	0	38	0	352	352	352	352	
実人数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0.0%
介護2	3	3	5	4	4	3	3	4	4	5	6	4	7	7	7	7	7.6%
介護3	15	16	18	17	16	18	19	18	20	21	22	25	31	31	31	31	33.7%
介護4	33	33	27	30	31	29	28	28	26	25	23	23	36	36	36	36	39.1%
介護5	9	10	10	10	10	10	9	11	11	12	13	11	18	18	18	18	19.6%
合計	62	64	61	62	62	61	60	62	62	64	64	63	92	92	92	92	
平均介護度	3.71	3.72	3.66	3.71	3.73	3.72	3.68	3.71	3.68	3.66	3.67	3.65	3.71	3.71	3.71	3.71	

利用状況集計

入退園者の状況

	男	女	計	前年	要支援	介護度					計	令和元年度
						1	2	3	4	5		
						計	1	2	3	4		
入園	在宅(ショート含む)	3	10	13	0	0	0	9	1	3	13	
	うち当園ショート利用歴あり	1	5	6	3	0	0	6	0	0	6	
	病院	4	8	12	7	0	0	3	7	2	12	
	老健	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	
	養護老人ホーム	1	1	2	0	0	0	0	2	0	2	
	介護医療院	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	
	グループホーム	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
	有料老人ホーム	0	2	2	5	0	0	0	2	0	2	
	特別養護老人ホーム	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	
	計	9	24	33	15	0	1	20	5	3	33	
退園	死亡	5	17	22	22	0	2	5	10	5	22	
	入院	2	5	7	4	0	0	1	5	1	7	
	本人・家族希望退所等	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
	老健	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
	対象外(要介護2)	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	
	計	7	23	30	32	0	2	6	16	6	30	

令和元年度

ショートステイ利用状況

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		構成比	
	30日		31日		30日		31日		31日		30日		31日		30日		31日		31日		29日		31日		366日			
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		
予防介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	0	0	0	0	1	11	0.4%
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	3	9	0.3%
介護	8	51	10	97	11	65	9	60	11	77	10	39	10	67	11	81	9	86	9	93	10	81	9	60	23	857	29.0%	
	3	46	5	92	10	163	8	120	6	60	6	77	6	55	8	63	8	90	8	119	5	38	2	15	17	938	31.7%	
	3	26	2	19	3	19	3	28	7	100	5	53	4	55	5	63	6	81	4	65	4	69	5	69	14	647	21.9%	
	4	15	3	7	4	24	5	32	3	22	2	24	2	19	2	15	2	22	3	21	2	21	4	52	8	274	9.3%	
	2	16	3	25	1	5	1	9	2	11	2	11	2	3	3	31	2	13	2	11	2	10	2	11	5	194	6.6%	
小計(A)	20	154	23	240	29	276	26	249	29	270	26	206	26	240	29	253	27	292	29	324	23	219	22	207	71	2,930		
30日超(B)	0	0	2	2	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	6	6	2	2	1	1	10	28	0.9%	
合計(A)+(B)	20	154	25	242	33	280	28	251	31	272	28	208	28	242	31	255	30	295	35	330	25	221	23	208	82	2,958	100%	
平均介護度	2.45		2.30		2.10		2.27		2.28		2.12		2.19		2.24		2.26		2.03		2.17		2.45		2.24		2.24	
1日平均人数	5.1		7.8		9.3		8.0		8.7		6.9		7.8		8.5		9.5		10.6		7.6		6.7		8.0		定員8人	
利用率(%)	64.1		97.5		116.6		101.2		109.6		86.6		97.5		106.2		118.9		133.0		95.2		83.8		101.0			
送迎加算回数	49		51		55		65		46		50		38		46		42		39		40		48		569		47.4	

非務一般/介護保険集計/施設状況

合計実人数は期間中の人数

平均介護度は、実人数による

平成30年度年間実人数	50名
平成30年度平均介護度	2.64

### 入浴サービス利用状況

令和元年度

	利用実人数	利用延人数	1人1月当たり 入浴回数
	人	人	回
4月	1	2	2.0
5月	1	2	2.0
6月	1	1	1.0
7月	1	2	2.0
8月	1	0	0.0
9月	1	2	2.0
10月	1	2	2.0
11月	1	2	2.0
12月	1	1	1.0
1月	1	2	2.0
2月	1	2	2.0
3月	1	2	2.0
計	1	20	1.7
平成30年度	1	14	1.7

年間給食実況 (令和元年度)

特別養護老人ホーム 長寿園

給食人数		栄養摂取状況(1人1日当り)												
利用者 (初日在籍)	職員 (1日平均)	エネルギー kcal	たん白質g	脂肪g	カルシウム mg	鉄mg	V. B1 mg	V. B2 mg	V. C mg	食塩相当量 g	総エネルギー 総エネルギー ×100(%)	動物たん白質 総たん白質 ×100(%)		
59	13	1,640	65.0	47.4	670	8.0	0.94	0.98	108	8.49	58.1	52.4		
62	13	1,640	64.0	47.6	636	7.3	0.96	0.98	119	8.70	58.3	51.6		
59	13	1,652	63.5	48.4	636	7.4	1.09	1.07	112	8.58	58.3	50.3		
59	13	1,634	63.1	47.5	660	7.4	0.99	1.04	100	7.82	58.4	53.0		
57	13	1,614	63.0	46.1	694	7.8	1.01	1.06	105	7.83	58.7	53.4		
58	13	1,615	63.0	45.5	611	7.3	0.95	0.97	128	7.97	59.0	53.0		
59	13	1,653	65.0	46.6	650	7.9	1.07	1.07	113	8.17	58.9	53.4		
60	13	1,620	64.5	46.4	694	7.7	0.99	1.02	114	7.94	58.3	52.9		
60	13	1,630	63.5	46.6	634	7.4	0.95	0.96	99	8.04	58.7	53.7		
60	13	1,613	63.4	45.4	658	7.7	0.95	0.95	96	8.06	59.0	53.5		
62	13	1,638	64.7	46.5	665	7.6	1.10	1.12	108	8.08	58.7	53.5		
61	13	1,620	62.4	45.2	630	7.2	0.99	1.00	110	8.08	59.5	53.0		
716	156	19,569	765.1	559.2	7,838	90.7	11.99	12.22	1312	97.76	703.8	633.7		
59.7	13.0	1,631	63.8	46.6	653	7.6	1.00	1.02	109	8.15	58.7	52.8		
		1,450	60.0	30.0	600	7.5	0.70	0.90	100	7.20	48.0	58.0		
		112.5	106.3	155.3	108.9	100.8	142.7	113.1	109.3	113.1	122.2	91.0		



令和元年度

受診・入院の状況

	他科受診											入院				
	歯科	皮膚科	内科	外科	整形外科	泌尿器科	精神科	循環器科	脳神経外科	眼科	消化器内科	婦人科	心臓科	人	日	
4月	37	6	1	1	0	3	0	0	1	0	0	0	1	1	7	熱発
5月	30	4	2	1	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	20	熱発
6月	27	3	0	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	20	心不全悪化
7月	26	1	1	0	0	3	0	1	0	1	3	0	0	2	44	熱発
8月	25	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	50	食思不振
9月	25	1	0	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1	26	食思不振
10月	25	1	3	0	1	2	0	1	1	0	0	0	1	1	16	食思不振
11月	23	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	30	食思不振
12月	35	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	47	食思不振 便秘
1月	32	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	70	食思不振 便秘 精査
2月	36	1	0	3	1	1	1	0	0	1	0	1	0	1	17	食思不振
3月	36	4	0	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	17	食思不振
計	357	29	9	14	7	20	1	4	2	5	3	1	2	21	364	←大退院日を含まない
実人数	60	5	7	8	4	3	1	3	2	1	2	1	1	10		
30年度	57	7	2	10	3	2	3	—	—	—	—	—	—	16		

# 別表 7

## 実習・施設見学の受け入れ状況

2019年度

### 《実習》

### 宿泊

学校・施設名	期間	日数(日)	人数(人)
YIC看護福祉専門学校 介護実習	5月13日 ~ 6月6日	18	2
YIC看護福祉専門学校 相談援助実習(通信)	5月28日~7月9日	8	1
宇部フロンティア大学短期大学部 栄養科	8月19日~8月30日	10	2
山口県立大学 社会福祉学部(ソーシャルワーク実習Ⅱ)	8月19日~9月9日	15	2
YIC看護福祉専門学校 介護実習Ⅱ-2	9月25日~10月23日	18	2
下関福祉専門学校 介護実習 3段階	9月17日~10月23日	27	2
山口県立大学 社会福祉学部(ソーシャルワーク実習Ⅰ前半)	11月27日~12月11日	3	2
立大SW実習Ⅰ後半は、新型コロナウイルス感染拡大中のため、受入れ中止			
7 回		99	13
平成30年度 9回		64	13

### 《見学》

高千帆校区 女性部	7月18日	1	10
1 回		1	10
平成30年度 0 回		0	0

外出・外泊の状況

令和元年度

月	外 出		外 泊	
	実人数	延日数	実人数	延日数
	人	日	人	日
4	0	0	0	0
5	2	2	0	0
6	2	3	0	0
7	2	2	0	0
8	0	0	0	0
9	4	4	0	0
10	2	2	0	0
11	4	5	0	0
12	3	3	0	0
1	5	5	0	0
2	1	2	0	0
3	0	0	0	0
計	10人	28日	0人	0日
H30 年度	14人	27日	1人	0日

## 面会状況

令和元年度

	回数	人数
4月	270	420
5月	420	674
6月	240	346
7月	261	369
8月	285	511
9月	210	343
10月	240	367
11月	210	311
12月	270	419
1月	240	359
2月	240	330
3月	22	25
計	2,908	4,474
30年度	3,814	5,496

## ボランティアの来園状況

令和元年度

	ボランティア名	来園回数	延人数
団 体	千代乃会	73	245
	天理教婦人会	21	83
	四つ葉会	21	81
	あじさい会	11	43
	日の出会	12	41
	南竜王会	21	136
	すみれの会	50	175
	民生委員(ガラス拭き)	9	122
	ひまわり会	9	33
	若山会	20	67
	中電工(清掃)	1	7
	理容組合(利用者理髪)	9	43
	地区労働者福祉協議会	2	53
	トゥッティ(ピアノ訪問)	0	0
	美栄の会(健康体操)	10	84
	寿美令会	21	81
須恵おはなしの会	1	10	
個 人	矢野氏	7	7
	植田氏	6	6
	荒木氏	10	10
	千代乃会(傾聴)	7	7
	西井氏	17	17
	合 計	338	1,351
	30年度	356	1,433

年間行事・施設訪問の状況

令和元(平成31)年度

実施日	行事	行事 (外出含)	訪問/参加	参加人数					備考
				あすなろ	ひだまり	さくら	みずきはな	合計	
4月4日	不在者投票	1		4	5	3	2	14	山口県議会議員
4月11日	健康体操		1 美栄の会	3	4	6	2	15	
4月25日	個別外出	1					1	1	
5月9日	健康体操		1 美栄の会	6	2	5	1	14	
5月17日	花の訪問		1 めぐみ幼稚園	6	0	6	5	17	
5月23日	個別外出	1		1				1	
6月2日	長寿祭	1							
6月8日	ふれあい運動会		1 市社協他	1	1	1	1	4	職員3人
6月12日	個別外出	1			2			2	
6月12日	人形劇		1 須恵おはなしの会	5	3	6	1	15	
6月13日	健康体操		1 美栄の会	4	0	7	3	14	
7月3日	個別外出	1		1				1	
7月11日	健康体操		1 美栄の会	3	0	5	1	9	
7月17日	不在者投票	1		3	4	7		14	参議院議員通常選挙
7月29日	個別外出	1				3		3	くら寿司
8月7日	盆供養		1 光安寺	4	3	0	1	8	
8月8日	健康体操		1 美栄の会	4	1	0	3	8	
8月26日	しあわせの集い		1 西日本医療		1	1		2	国際ホテル宇部 職員2人
9月12日	健康体操		1 美栄の会	2	4	0	2	8	
9月15日	敬老会	1							各ユニットで趣向を凝らし、催し実施
9月25日	陽光園夕食会		1 陽光園	1	2	2		5	きらら交流館 職員6人
10月24日	個別外出	1			4			4	サンパーク 職員4人
10月28日	個別外出	1		4				4	花の海 職員4人
11月7日	個別外出	1			2			2	花の海 職員2人 家族1人
11月14日	健康体操		1 美栄の会	4	4	2	2	12	
12月12日	健康体操		1 美栄の会	6	3	2	0	11	
12月19日	クリスマス会	1			16	16		32	
12月21日	クリスマス会	1		17				17	
12月23日	クリスマス会	1					9	0	
12月26日	もちつき	1		4	3	2	4	13	明寿香園15人
1月9日	健康体操		1 美栄の会	6	2	2	4	14	
2月13日	健康体操		1 美栄の会	6	0	2	0	8	
2月25日	個別外出	1		1				1	ゆめタウン
								0	
計	行事	24回 17回	(去年17)回 16	96	66	78	42	240	人

施設外研修の参加状況

令和元年度

研修名	日程	期間 (日間)	場所	園長	事務長	事務員	相談員	機能訓練	介護職	看護職	栄養士	調理員		
平成31年度山口県老人福祉施設運営研修会	5/16~17	2	湯田	1	1									
平成31年度認知症介護実践研修(実践者研修)	6月~9月	6	秋穂					2						
福祉施設給食担当職員研修【第1回】	6/26	1	秋穂								1			
福祉施設給食担当職員研修【第2回】	6/27	1	秋穂									1		
山口県介護支援専門員更新研修(専門研修課程Ⅱ)			秋穂				1							
ソーシャルワーク実習報告	5/30	1	山口				1							
リスクマネジメント研修	6/21	1	秋穂				1							
シーティング・ポジショニングセミナー	6/29	1	秋穂					5						
山口県介護支援専門員更新研修(専門研修課程Ⅱ)	7月~	5	秋穂				1							
山口県労働セミナー【第1回】実務者の為の労働・社会保険基礎セミナー	6/25	1	山口		1									
平成31年度第1回総会および社会福祉法人経営力向上セミナー	7/4	1	湯田	1										
山口県労働セミナー【第2回】外国人雇用情勢と実務対応	7/17	1	宇部		1									
令和元年度老人福祉施設アドバンスコース(高齢者の権利擁護と虐待等への対応)	7/24	1	秋穂				1	1						
令和元年度社会福祉法人会計研修会「新任研修」	7/31	1	山口			1								
令和元年度第1回介護事業者支援セミナー	8/6	1	秋穂		1	1								
令和元年度山口県経営協セミナー(前期)	8/9	1	吉敷	1										
第15回 中国地区老人福祉施設研修大会	8月29~30日	2	湯田	1			1	1	1					
福祉施設看護・保健担当職員研修【第1回】	10/29	1	秋穂							1				
福祉施設看護・保健担当職員研修【第2回】	10/30	1	秋穂					1						
令和元年度キャリアアップ研修 高齢者施設感染対策研修	9/7	1	山口							1				
福祉施設感染対策集合研修会	9/17	1	市内					1	1					
山口県労働セミナー『働き方改革関連法』	9/5	1	秋穂		1									
平成31年度介護技術講座『ノーマリフトケアと環境整備』	9/11	1	秋穂					1						
令和元年度認定調査員(現任Ⅱ)研修	9/10	1	湯田					1						
地域医療介護総合確保基金事業 第1回 管理者が知っておきたい労務管理の基本	9/10	1	秋穂	1										
2019年度 介護労働者雇用管理責任者講習 介護労働者の人事管理①同一労働・同一賃金②多様な人材の活用	12/10	1	秋穂		1									
令和元年度 全国老人福祉施設研究会議(愛媛会議)	10月29~30日	2	愛媛				1	1	3					
特定給食施設等研修	11/6	1	吉敷									1		
高齢者雇用セミナー「70再雇用時代に向けて 今取り組むべきこととは?」	10/24	1	山口		1									
山口働き方改革シンポジウム「多様な働き方がもたらす未来像」	11/8	1	小郡		1									
令和元年度 福祉施設キャリアパス対応生涯学習研修課程【チームリーダーコース】	9/19~20	2	秋穂					3						
令和元年度 福祉施設キャリアパス対応生涯学習研修課程【中堅職員コース】	9/17~18	2	秋穂					1						
令和元年度 福祉施設キャリアパス対応生涯学習研修課程【中堅職員コース】	9/2~3	2	秋穂					1						
福祉避難所設置・運営実務研修(山口県市町防災力強化専門研修)	12/20, 2/4	2	山口	1										
生産性向上支援訓練「職場のリーダーに求められる統率力の向上」	1/9, 23	2	宇部	1										
*山陽小野田地域医療セミナー「医療・介護現場における排尿管理」	12/5	1	市内				1			2				
令和元年度 介護現場改善研修会『人材定着に向けてどのように職員を育てていくのか』	2/21	1	山口						1					
令和元年度 新カリキュラム対応介護実習指導研修	2/13	1	秋穂						1					
* 令和元年度社会福祉士実習指導者スキルアップ研修会	2/15	1	山口	1			1							
就労パスポート 事業主向け活用セミナー	2/18	1	秋穂		1									
				56 日	延べ 人数	8	9	2	3	0	8	5	1	0
				平成30年度54日		11	11	2	7	1	24	3	0	0

## 施設内研修(現任)の実施状況

令和元年度

実施日	テーマ	講師	参加職種					参加人数
			介護	看護	相談	給食	事務	
4月25日	全体会議(今年度の事業計画について)	園長 主任者会	●	●	●	●	●	55
5月 16・23日	食中毒	感染症対策 委員会	●	●	●	●	●	50
6月 20・27日	介護現場における事故(服薬ミス防 止)	事故防止 委員会	●	●	●			39
7月 18・25日	褥瘡予防ケア(スキンケア、圧抜き)	褥瘡 委員会	●	●				52
8月 22・29日	虐待 身体拘束 ストレスマネジメント(倫理綱領)	主任者会	●	●	●			44
9月 19・26日	ノロ・インフルエンザ 初期対応	感染症対策 委員会	●	●				39
10/2	福祉施設における感染対策について ～園内ラウンドした気づきを含め～	外部講師2人	●	●	●	●	●	38
10月 17・24日	高齢者のスキンケア	外部講師 「花王」	●	●	●	●	●	33
11月 21・28日	身体拘束 虐待 認知症ケア	園長 主任者会	●	●	●	●	●	48
12月 19・26日	看取りケア『家族の延命医療どう考 える?』ビデオ鑑賞 医療的ケア	看取り委員会 看護師	●	●	●			37 34
1月 16・23日	認知症の基礎知識とコミュニケーシ ョン	認知症ケア委 員会	●	●	●	●	●	44
2月 20・27日	介護事故におけるリスクマネジメント ～裁判事例を基に	認知症ケア 委員会	●	●	●			30
3/19	ユニット発表会	ユニットメン バー	●	●	●	●	●	39
12月	リーダー研修会	介護主任	ユニットリーダー、総リーダー					6
2/25	ベッド上ポジショニング(ヘルパー向け)	機能訓練指導員	●					10



## 新入職員研修の実施状況

令和元年度

内容	職種	時期	回数	担当
職務心得・虐待他	全職種	採用直後	3	園長
採用に関わる書類等	全職種	採用直後	3	事務長
接遇	全職種	採用直後	3	担当部署リーダー(主任)
感染症予防対策	全職種	採用直後	3	感染症予防委員会リーダー
事故防止対策	全職種	採用直後	3	事故・拘束対策委員会リーダー
介護業務	全職種	採用直後	3	介護主任
褥瘡について	全職種	採用直後	3	褥瘡委員会リーダー
ケアプラン	介護・看護	夜勤業務が1人でできるようになった後	—	介護支援専門員
介護業務(移動)	介護	OJTにて、実施	2	総リーダー、ユニットリーダー
介護業務(食事)	介護		2	総リーダー、ユニットリーダー
介護業務(入浴・整容)	介護		2	総リーダー、ユニットリーダー
介護業務(排泄)	介護		2	総リーダー、ユニットリーダー
介護業務(記録)	介護		2	総リーダー、ユニットリーダー
機能訓練指導員業務	相談		1	主任生活相談員
看護業務・死生観	全職種		採用直後	3
給食業務 (給食:食種やトロミ剤、自具について)	全職種	採用直後	3	給食主任

\* H31(令和元)年度中の新規採用実人数:5人(介護:2 機能:1 給食:2)

## 職員会議の実施状況

令和元年度

会議の名称	回数	参加者	協議内容
主任者会	12	介護主任、看護主任、給食主任、主任生活相談員、事務主任	園内研修計画及び、進捗状況について 各パート報告 園の運営について 園内研修、行事、苦情等について
介護リーダー会	11	介護職主任、ユニットリーダー	園内研修について 服薬マニュアルの見直し、作成について 勤務時間の見直し ケア改善計画の内容確認
給食会議	4	栄養士、調理員	マニュアルの見直し 業務の見直し、行事の反省
ナース会議	1	看護主任、看護職、PT	事業計画の見直し、今後の展開と次年度課題・計画、次年度の担当について
あすなる ユニット会議	8	あすなる介護職、 看護職、相談員	ユニットケア全般業務連絡、業務見直し、 意見交換、 園内研修
ひだまり ユニット会議	8	ひだまり介護職、 看護職、相談員	
さくらユニット会議	6	さくら介護職、 看護職、相談員	
はなみずき ユニット会議	9	はなみずき介護職 看護職、相談員	
ヘルパー会議	0	介護主任 ヘルパー介護職	業務への気づき、提案について
ケアカンファレンス	26	担当介護職、担当看護職、 介護職主任、栄養士、 生活相談員、機能訓練指導員、 介護支援専門員	ケアプランの策定、見直し のべ153人検討
熱中症対策会議	1	園長 介護主任 看護主任	夏場を利用者が体調を崩さず乗り切れるよう、水分摂取量を増やしたい
計	86		

## 委員会の活動状況

令和元年度

委員会の名称	会議回数 (回)	活動内容
ショート委員会	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容の確認</li> <li>・物品整理、管理場所の把握</li> <li>・今年度の目標</li> <li>・家族への報告書類、様式の見直し</li> </ul>
排泄委員会	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄物品の見直し</li> <li>・おむつ交換の方法マニュアルの整備</li> <li>・下タオルと小布の変更・・・使い捨ておしりふきシートを使用</li> <li>・摘便について</li> </ul>
認知症ケア委員会	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアについての研修企画・実施</li> <li>・アンケートの集計、検討</li> </ul> ※介護リーダー会にて、上記について話し合う
看取り委員会	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取り気づきシートによる、利用者の状態把握</li> <li>・看取りマニュアルの作成</li> <li>・看取りケアを行った利用者についての評価</li> </ul>
事故防止委員会	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故、ヒヤリハットの集計、対策・協議(月1回の集計データ収集・分析)</li> <li>・職員の事故防止に対する意識啓発、園内研修、記録紙の見直し</li> <li>・園内研修の準備</li> <li>・アンケートの集計、検討</li> </ul>
褥瘡対策 防止委員会	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡予防及び、発生時に向けた対策の検討</li> <li>・園内研修の準備</li> <li>・褥瘡予防のための、体位変更の確認、栄養状態の確認</li> <li>・褥瘡予防物品の整理整頓、管理</li> <li>・褥瘡発症者、要注意者の状態把握、評価、予防に向けての取り組み</li> </ul>
感染症委員会	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常時の感染予防、感染予防基本動作の徹底、行動マニュアルのデモ</li> <li>・マニュアルの見直し、修正</li> <li>・感染症流行期間の内外に対する注意喚起(張り紙、園内放送)</li> <li>・園内研修の準備</li> <li>・ノロウイルス初期対応マニュアルの見直し、検討</li> </ul>

## 別表 17

## 年齢別状況

令和元年度

	男		女		計	
	R1年度末	30年度末	R1年度末	30年度末	R1年度末	30年度末
～64	1	2	0	0	1	2
65 ～ 69	0	0	1	2	1	2
70 ～ 74	0	2	3	0	3	2
75 ～ 79	3	1	5	4	8	5
80 ～ 84	2	2	8	8	10	10
85 ～ 89	3	1	14	12	17	13
90 ～ 94	1	1	9	12	10	13
95 ～	0	0	12	13	12	13
計	10	9	52	51	62	60
最低年齢	46	45	66	65		
最高年齢	93	93	101	100		
平均年齢	79.2	73.4	87.5	88.5	86.3	86.7

## 在園期間の状況

令和元年度

\*年度末の人数で計算

	男		女		計	
	30年度	R元年度	30年度	R元年度	30年度	R元年度
1年未満	2 <sup>人</sup>	5 <sup>人</sup>	11 <sup>人</sup>	23 <sup>人</sup>	13 <sup>人</sup>	28 <sup>人</sup>
1年以上2年未満	3	2	13	6	16 <sup>人</sup>	8
2年以上3年未満	1	1	9	5	10 <sup>人</sup>	6
3年以上5年未満	2	2	7	7	9 <sup>人</sup>	9
5年以上10年未満	1	0	9	7	10 <sup>人</sup>	7
10年以上	0	0	6	4	6	4
計	9	10	55	52	64	62
平均在園期間	2年5か月	1年5か月	4年2か月	3年1ヶ月	3年8か月	2年10ヶ月
令和元年度 退園者平均在園期間	1年6か月		2年6か月		2年3か月	

## 生活の状況

令和元年度

			人数(人)		
			令和元年度末(62名)	30年度末(58名)	
歩 行	自立歩行	独歩	2	3	
		杖等歩行 補助器使用	9	7	
		一部介助 手を貸せば歩ける	8	3	
	歩行不能	車いす使用	自力可	12	9
			一部介助	5	0
			全面介助	26	36
食 事	状態	自分で可能	38	32	
		一部介助	5	11	
		全面介助	19	15	
入 浴	個浴	自分で可能	1	2	
		一部介助	12	6	
		全面介助	17	22	
	特浴	32	28		
着 衣	自分で可能		2	6	
	一部介助		18	29	
	全面介助		42	23	
排 せ つ	昼間・夜間	便所	自分で可能	昼3 夜3	昼6 夜4
		便所	介助	昼21 夜10	昼8 夜4
	便器	自分で可能	昼2 夜2	昼0 夜0	
		介助	昼2 夜6	昼0 夜0	
	おむつ使用		昼34 夜41	昼44 夜50	
起 座	自分で可能		23	17	
	一部介助 (何かにつかまると自分で可能)		14	12	
	全面介助		25	29	
立 ち 上 が り	自分で可能		22	13	
	一部介助 (何かにつかまると自分で可能)		13	10	
	全面介助		27	35	
寝 返 り	自分で可能		24	14	
	一部介助 (何かにつかまると自分で可能)		12	10	
	全面介助		26	34	

# 令和元年度 デイサービス施設明寿香園事業報告書





## 令和元年度 デイサービス施設明寿香園事業報告書

令和元年度は、身体介護を必要としていない対象者を中心に、積極的に受け入れを行った。認知症予防の脳トレや機能訓練を実施し、他者との交流の場となっている。また、要介護者の受け入れも積極的に行い、認知症実践者と認知症実践者リーダー研修に参加し、認知症ケアの実践に取り組んだ。

個々に応じた身心機能の維持向上訓練や、日常生活機能訓練を行い、在宅生活が継続できるように支援した。

重点目標の1点目「新規利用者の受け入れを積極的に行う」は、利用を希望する方については、事前訪問を行い、体験利用をしてもらった。一日過ごしてもらい、「また来たい」と思ってもらえるように支援した。新規利用者は、前年度に比べ多かったが、利用中止者の数が上回り実績に繋がらなかった。

2点目「職員間の連携を深め、より良いサービスの提供を行う」については、報告・連絡・相談を意識して行い、チームケアに取り組んだ。また、外部研修にも参加し、職員間のスキルアップを図ると共に、資質向上に努めた。

3点目「快適に過ごせる環境作りを行う」については、静養できるスペースの確保と、テーブルでレクリエーションを行う場所の確保を行い、楽しめる環境作りを積極的に行った。

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、検温、手洗い、うがい、消毒、換気等を適宜行い、通常どおりの受け入れを行った。

### 1 施設の概要

名 称	デイサービス施設 明寿香園 通所介護(通常規模型)・総合支援事業(予防給付型) 定員 30 人 【通所介護】 入浴、個別機能訓練Ⅰ・Ⅱ、 サービス提供体制加算、処遇改善加算、 特定処遇改善加算、有 【総合支援事業(予防給付型)】 運動機能向上加算、 サービス提供体制加算、処遇改善加算、 特定処遇改善加算、有 総合支援事業(生活維持型) 定員 5 人 サービス提供体制加算、処遇改善加算、 特定処遇改善加算、有
住 所	山陽小野田市大字小野田11324番地10
事業開始	昭和59年12月 1日
建 物	鉄筋コンクリート平屋建 508.2m <sup>2</sup> 食堂 訓練室 休養室 浴室(リフト浴・一般浴)

## 2 サービス提供体制（職員配置）

常勤介護職員が、令和元年5月に1人、12月に1人退職した。  
11月に、常勤看護職員兼機能訓練指導員兼介護職員1人を採用した。  
令和2年2月に、訪問介護事業所より常勤介護職員1人の異動があった。  
令和2年3月に、常勤相談員兼介護職員が1人長寿園に異動したため、  
介護職員リーダーを相談員兼務とし体制を整えた。

令和元年度末職員人数（人）

管理者	1（施設管理者等兼務）
生活相談員	2（介護職員兼務1）
介護職員	
通所介護・予防給付型	5（相談員兼務1、生活維持型兼務1） （機能訓練指導員・看護職員兼務1）
生活維持型	2（通所介護・予防給付型兼務1）
看護職員	3（機能訓練指導員兼務2、内パート2） （機能訓練指導員・介護職員兼務1）
機能訓練指導員	1
事務員	1
	計 12（デイ専従11、内パート2）

## 3 サービスの実施状況

### （1）利用実績

開園は305日（前年度305日）となった。

利用述べ人数は、6,424人（前年度6,931人）1日平均21.0人（前年22.7人）、利用率は60.1%（前年度64.9%）となり、平均介護度は、1.33（前年度1.39）であった。一日当たりの利用者数は、わずかに減った。

新規利用者が24人（前年度18人）、利用中止者は25人（前年度18人）、実利用人数は、90人（前年度84人）となった。

利用中止の理由は、入院8人、施設入所8人、自宅療養3人、死亡4人、他デイ事業所利用2人であった。

介護度別の実利用者割合

令和元年度末現在

事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
2.2% (3.6)	8.9% (8.3)	17.8% (15.5)	47.8% (48.8)	11.1% (13.1)	10.0% (3.6)	2.2% (2.4)	0.0% (4.8)

※ ( ) 前年度

別表1 デイサービス利用状況

(2) サービス内容

① 通所介護計画について

居宅サービス計画書に沿って、アセスメントで得られた情報より課題抽出を行い、本人、家族が望む生活に向けての目標設定・計画作成に努めた。

また、利用者・家族への丁寧な説明に心掛けた。定期的に、目標達成状況の把握し、再アセスメント、介護計画書の再作成を行った。必要時には、ケアマネージャーへの報告を行い、サービス内容や居宅サービス計画の見直しの働きかけを行った。

② 送迎について

利用者の心身状態や道路状況を配慮し、車種選択し、安全で円滑な送迎に努めた。

デイ所有の車両のみでの送迎が困難なため、他部署の車両を使用することが頻繁にあった。そのために、車両使用については、他部署との調整に苦慮した。令和2年2月、訪問事業所の休止により、ヘルパーの車両をデイで使用する事とした。

認知症等により、身支度が困難なケースも増え、起床の手伝い、着替えの支援、複数回の迎え、通常送迎時間を遅らせる等の対応を行った。

地域別利用状況

令和元年度末現在 (人)

本山	赤崎	須恵	小野田	高千帆	高泊	有帆	宇部	計
5	2	28	36	12	4	1	2	90

### ③ 健康状態の確認・管理

来園時と午後の2回、バイタル測定（血圧・脈・体温）と体調確認を行った。また、パルスオキシメーターにて、SPO2（経皮的動脈酸素飽和度）を測定するケースが増えた。利用中に、安静に過ごす時間を必要とする利用者が増え、ベッドが足りないことがあった。時間を決め交替する等、利用者に協力を得て対応した。

体調が不安定な利用者が増えたことや、服薬管理が出来ていない等により、家族・ケアマネージャー・主治医・薬剤師等に連絡するケースも増えた。

夏季は、脱水症状を起こさないように、小まめに水分摂取を促し、熱中症の注意喚起をした。訓練の前後、入浴後は、適宜水分補給に努めた。

風邪やインフルエンザ等の感染症の流行時期には、手洗いやうがいの励行に努め、体調不良時は、早めの受診をすすめた。また、室内の換気等の予防対策の徹底を行った。

### ④ 入浴について

利用者の健康状態を把握し、身体状態に合わせた介助方法と、設備を選択してサービス提供を行った。また、看護職と連携し、利用者の皮膚状態の確認を行い、必要に応じて受診を勧めた。

体調不良等により入浴が出来ない利用者については、部分浴（手指・足）・シャワー浴・陰部洗浄・清拭等の代替対応にて、身体の清潔保持に努めた。

座位保持・立位保持が困難な利用者には、リフト浴を使用し、安全に十分配慮して実施している。

主治医や訪問看護事業所の指示により、入浴後に処置を行うことが増えた。

### ⑤ 食事について

給食が委託になり、味付けや献立にも慣れてきた。また、調理職員の協力を得て、可能な限り嗜好についての配慮を行った。

自立支援に配慮し、食事形態の選択と自助具を用意する等の対応を行った。介助にあたる際は、利用者の食事ペースに配慮し、声かけや雰囲気づくりにも努めた。

### ⑥ 排泄について

清潔な環境づくりのため、随時点検や掃除を行った。

介助においては、利用者の自尊心に配慮しながら、心身の状態に応じたケアに努めた。トイレでの排泄が出来るように、声かけ・トイレへの誘導方法や介助方法を検討し実施した。

ベッド上での排泄介助についてはパーテーションを使用し、プライバ

シーの保護に配慮して行った。

必要な利用者には、排尿・排便の有無・尿量・便の状態等を把握し、家族、他サービス事業所と連絡を密にし、排泄コントロールを行った。

#### ⑦ 機能訓練について

機能訓練指導員を中心に、全職員で協力をし、3ヶ月毎に自宅訪問し、アセスメントを行った。機能訓練指導員が作成した「個別機能訓練計画書（運動器機能向上訓練計画書）」に沿って機能訓練の実施を行った。

機能訓練実施には、目的別に少人数のグループで対応を行った。また、マンツーマン対応が必要な利用者と予防給付型の利用者の機能訓練については、機能訓練指導員が対応した。

評価については、3ヶ月毎に測定と他職種の意見を聞きながら、機能訓練指導員が行った。定期的に効果測定（10m歩行、握力、片足立ち、前屈等）を行うことにより、利用者の意欲向上に繋がった。

#### ⑧ アクティビティ・行事について

毎日レク担当者が、計画的に利用者間の交流と脳の活性化を目的に、午後30分程度の集団レクリエーションを実施した。

個別の活動については、脳トレやクロスワード、塗り絵等、意欲的に取り組む利用者が多かった。

行事活動については、4月お花見、7月七夕飾り、8月明寿香祭り、10月運動会、12月忘年会、2月節分・豆まきの6回を実施した。実施日数に限りがあるため、利用日でない利用者には、アクティビティの時間を使って作品作り等、個別の対応で参加してもらった。多くの利用者に参加してもらうことができた。

別表2 行事实施状況

#### ⑨ 口腔ケアについて

来園時に、うがいを行うことにより、口腔内の清潔に心がけた。昼食前に、口腔体操を行い、口やその周辺の運動機能や、飲み込みの機能が改善できるように働きかけた。また、食後には、うがいや歯磨きを勧めるとともに、必要な利用者には、義歯洗浄等の介助を行うことで、口腔内の清潔保持に努めた。治療が必要な利用者には受診を勧め、治療に繋がった。

#### ⑩ 認知症ケアについて

前年度に比べ、日常生活に支障をきたす症状がある利用者が多かった。認知症実践者研修、認知症実践者リーダー研修に参加し、チームケアに努めた。

⑪ 家族介護者への支援について

連絡帳の活用、電話連絡、送迎時の家族との会話やコミュニケーションを密に行い、家族介護者の相談や助言を行った。特に、送迎時の家族介護者の健康状態に留意し、必要時にはケアマネージャーや関係機関に報告を行うことで、協働して家族支援ができるように努めた。

(3) 利用者の状況

別表3-1 利用者歩行・移動の状況

別表3-2 認知症利用者の状況

別表3-3 年齢別利用者状況

4 広報活動について

行事の際、宇部日報社に取材依頼を行い掲載してもらうことで、地域の方に活動の様子を知って頂く機会にした。

5 地域とのネットワークづくりについて

趣味活動のボランティアの訪問を積極的に依頼することで、活動の場を提供するとともに、利用者の楽しみとなった。令和2年3月は、コロナウイルス感染症予防のため、市の要請がありボランティアの受け入れを中止した。

実習の受入については、6件であった。

別表4 ボランティア受入状況

別表5 実習受入状況

6 安全快適な環境づくりについて

①通常の業務の中で、手洗い・消毒・感染予防対策を徹底した。

②床磨き、ゴキブリ駆除などを、外部業者に依頼し実施した。

③ヒヤリハットについては、ミーティングで検討し、職員の事故防止への意識を高め、再発防止に努めた。医療機関受診等の事故（転倒4件・誤薬1件・薬の重服1件）は、6件であった。苦情は、2件あった。（請求書の取り扱い、送迎車の運転について）

8 職員資質向上と人材育成について

外部研修には、デイサービス協議会主催の研修を中心に参加した。研修参加者は、園内研修の講師として職員会議の中で報告を行い、職員全体の資質の向上に努めた。内部研修については担当者を決め、講師を行うことで、各自のスキルアップに繋げた。

新任研修については、研修スケジュールに沿ってOJTを中心に実施した。各自のペースに合わせて実習を行うように心掛けた。

別表6 職員の研修状況



別表 1-2

生活維持型

総合事業（生活維持型）	定員												合計	構成比
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
延人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
開園日数	26	25	25	27	25	25	27	26	24	24	25	26	305	
事業対象者	4	5	4	4	3	4	3	3	4	3	7	7	51	7.8%
要支援 1	17	14	15	17	11	11	13	8	11	12	10	9	148	22.6%
要支援 2	34	41	44	38	33	40	47	44	37	33	33	31	455	69.6%
【2】計	55	60	63	59	47	55	63	55	52	48	50	47	654	100.0%
平均利用者数/日	2.1	2.4	2.5	2.1	1.8	2.2	2.3	2.1	2.1	2.0	2.0	1.8	2.1	
利用率 (%)	42.3	48.0	50.4	43.7	37.6	44.0	46.6	42.3	43.3	40.0	40.0	36.1	42.8	
サービス提供体制加算 I 11	5	5	5	5	5	4	4	3	4	5	5	4	54	8.3%
サービス提供体制加算 I 12/1	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	16	2.4%
サービス提供体制加算 I 12	5	5	5	4	4	5	5	5	4	4	4	3	53	8.1%
処遇改善加算 I	10	11	11	10	10	10	10	9	10	11	11	10	123	18.8%
特定処遇改善加算 I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	9.3%
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	
要支援 1	4	4	4	4	4	3	3	2	3	3	3	2	3	
要支援 2	5	6	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	
実人数	10	11	11	10	10	10	10	9	10	11	11	10	10	実人数

合計

総合事業（生活維持型）	定員												合計	構成比
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
延人数	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	
開園日数	26	25	25	27	25	25	27	26	24	24	25	26	305	
事業対象者	576	523	513	601	532	603	620	543	486	455	470	502	6,424	
要支援 1	22.1	20.9	20.5	22.2	21.2	24.1	22.9	20.8	20.2	18.9	18.8	19.3	21.0	
要支援 2	63.2	59.7	58.6	63.5	60.8	68.9	65.6	59.6	57.8	54.1	53.7	55.1	60.1	



## 行事実施状況

令和元年度  
(人)

月	行事名	実施日数	場所	参加延べ人数	その他	ボランティア
4	お花見	5	食堂 デイルーム、 長寿園中庭	121	0	0
7	七夕飾り	4~7月	食堂 デイルーム	全員	—	—
8	明寿香祭り	3	食堂 デイルーム	66	実習生 1	1
10	運動会	3	食堂 デイルーム	64	0	0
12	忘年会	3	食堂 デイルーム	55	長寿園利用者 2	1
R2/2	節分・豆まき	3	食堂 デイルーム	58	0	1

## 利用者歩行・移動の状況

(人)

自助具種類	令和元年度		平成30年度	
	自立	介助	自立	介助
なし	29	3	19	5
杖	19	4	21	2
歩行器	19	11	11	18
車椅子	0	5	0	8
計	67	23	51	33
合計	90		84	

## 認知症利用者の状況

(人)

ランク		元年度	30年度
自立	認知症なし	20	15
I	認知症はあるがほぼ自立	13	30
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが多少あり誰かの注意が必要とする	5	30
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが時々あり介助を必要とする	40	2
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが頻繁にあり介助を必要とする	12	5
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ専門医療が必要である	0	2
合 計		90	84

## 年齢別利用者状況

令和元年度  
(人)

年齢別区分	男性	女性	計
～69	0	2	2
70～74	0	3	3
75～79	4	3	7
80～84	5	16	21
85～89	1	18	19
90～94	3	22	25
95～99	1	11	12
100～	0	1	1
計	14	76	90
平均年齢	84	87	86
最高年齢	96	103	

令和元年度 ボランティア受入・依頼状況

別表4

令和元年度

月	来園者	活動内容	人数(人)	日数(日)
4	西井氏	傾聴、ゲーム	1	1
	双葉会	尺八・三味線演奏、歌	4	1
	日の出老人会	三味線、歌	2	1
	健康体操	体操、舞踊	9	1
	岩崎寺大正琴の会	大正琴	10	1
	絵手紙教室	絵手紙	1	1
5	西井氏	傾聴、ゲーム	1	2
	日の出老人会	三味線、歌	2	1
	健康体操	体操、舞踊	10	1
	絵手紙教室	絵手紙	1	1
6	西井氏	傾聴、ゲーム	1	4
	どんぐりの会	歌謡ショー	8	1
	双葉会	尺八・三味線演奏、歌	4	1
	日の出老人会	三味線、歌	2	1
	絵手紙教室	絵手紙	1	1
7	西井氏	傾聴、ゲーム	1	2
	日の出老人会	三味線、歌	2	1
	絵手紙教室	絵手紙	1	1
8	西井氏	傾聴、ゲーム	1	2
	地区労ボランティア	窓拭き、エアコンフィルター清掃	4	1
	日の出老人会	三味線、歌	2	1
	双葉会	尺八・三味線演奏、歌	3	1
9	西井氏	傾聴、ゲーム	1	3
	日の出老人会	三味線、歌	2	1
10	日の出老人会	三味線、歌	2	1
	双葉会	尺八・三味線演奏、歌	5	1
11	西井氏	傾聴、ゲーム	1	3
	健康体操	体操、舞踊	10	1
	日の出老人会	三味線、歌	2	1
	絵手紙教室	絵手紙	1	1
12	西井氏	傾聴、ゲーム	1	2
	地区労ボランティア	窓拭き、エアコンフィルター清掃	4	1
	双葉会	尺八・三味線演奏、歌	4	1
	日の出老人会	三味線、歌	2	1
1	日の出老人会	三味線、歌	2	1
	縄田氏	工作	1	1
2	西井氏	傾聴、ゲーム	1	2
	双葉会	尺八・三味線演奏、歌	3	1
	絵手紙教室	絵手紙	1	1
			114	51

実習受入状況

別表5

令和元年度

月	実習生	実習内容	人数(人)	日数(日)
7	東亜大学 芸術学部 アート・デザイン学科 2年	介護等の体験	1	5
8	山口東京理科大学 工学部 応用化学科 2年	介護等の体験	1	5
	山口県立大学 国際文化学部 文化創造学科 2年	介護等の体験	1	5
9	山口東京理科大学 工学部 応用化学科 2年	職場体験実習	2	10
9	山口東京理科大学 工学部 応用化学科 3年	職場体験実習	1	5
			6	30

別表6

## 職員の研修状況

令和元年度  
(人)

(外部)

研修会名	期間	場所	参加者
平成31年度「総会(第1回)」及び「管理者研修会I」	平成元年6月14日	ホテルかめ福 (山口市)	園長 事務長 2
認知症介護実践者研修(実践者研修)	令和元年6月17日～ 令和元年9月20日	山口県セミナーパーク (山口市)	介護職員 1
福祉のしごとインターンシップ事業所説明会	平成元年7月12日	山口県社会福祉会館 (山口市)	主任生活 相談員 1
認知症介護実践者研修(実践リーダー研修)	令和元年7月30日～ 令和元年11月29日	山口県セミナーパーク (山口市)	介護職員 (リーダー) 1
令和元年度通所介護事業所担当者講習会	平成元年11月13日	保健センター(鴨庄) (山陽小野田市)	主任生活 相談員 1
現任職員研修会③「現場で活かせるコーピング・セルフマネジメント」	平成元年11月19日	ホテルかめ福 (山口市)	介護職員 1

(内部)

(人)

研修内容	期間	場所	参加者
倫理及び法令遵守に関する研修	平成元年5月23日	明寿香園 食堂	11
接遇に関する研修	平成元年6月27日	明寿香園 食堂	11
非常災害時の対応に関する研修	平成元年7月25日	明寿香園 食堂	11
接遇に関する研修	平成元年8月22日	明寿香園 食堂	11
認知症及び認知症ケアに関する研修	平成元年9月26日	明寿香園 食堂	11
感染症・食中毒に予防蔓延防止に関する研修	平成元年10月24日	明寿香園 食堂	10
プライバシーの保護に関する研修	平成元年12月26日	明寿香園 食堂	11
身体拘束の排除に関する研修	平成32年2月27日	明寿香園 食堂	11
高齢者虐待防止に関する研修	平成32年3月26日	明寿香園 食堂	11

令和元年度 ホームヘルプ事業報告書  
(長寿園訪問介護事業所)



## 令和元年度 ホームヘルプ事業報告書

訪問介護は、独居、高齢者世帯の生活支援や、家族介護者の重介護負担の軽減を行い、できる限り住み慣れた在宅生活を継続するために必要とされるサービスである。当事業所は、ヘルパーの人員確保が困難な中、常勤2人、非常勤3人の体制で、依頼のあった訪問にできるだけ対応してきた。

ヘルパー体制は、6月末で非常勤ヘルパー1人の退職があり、さらに、11月末から、サービス提供責任者が、病気療養のため休業した後、年度末で退職した。

訪問介護事業の継続が、人材確保も、採算性からも、困難と判断し、令和2年2月から事業を休止し、令和2年度3月末にて廃止した。平成2年1月の事業開始から、30年間の活動を閉じた。

休廃止に当たっては、利用者に不利益が起きないように、担当ケアマネを通して、他事業所へ繋いだ。

訪問実績の目標として、前年度の実績を上回るよう努めたが、1月当たりの訪問回数、訪問時間とも、前年度実績に及ばなかった。身体介護が減少し、総合事業の訪問が増えたことも、収入減の要因である。

元年度決算後の固定資産、及び現金預金は、令和2年度に、適切な拠点区分に振り替える会計処理を行う。

### 1 施設の概要

名 称	長寿園訪問介護事業所	
住 所	山陽小野田市大字小野田11324番地10	
事業開始	生活支援型ホームヘルプサービス事業	平成 2年 1月 1日 (平成29年3月31日廃止)
	指定介護予防訪問介護事業	平成18年 4月 1日 (平成29年3月31日廃止)
	山陽小野田市総合事業(予防給付型)	平成29年 4月 1日
	指定訪問介護等事業	平成12年 4月 1日
	指定障害福祉サービス事業(身障居宅介護)	平成18年10月 1日
	移動支援事業(身障外出介護)	平成18年10月 1日

## 2 サービス提供体制（職員配置）

令和2年度末職員人数

サービス提供責任者（常勤）	1人	介護福祉士 休職中
常勤ホームヘルパー	一人	介護福祉士1人 デイサービスへ異動
非常勤ホームヘルパー	一人	介護福祉士1人 2級ホームヘルパー1人 2人 施設パート介護職へ異動

## 3 サービスの実施状況

令和元年度（10ヶ月間）の訪問実績は、延べ2,193回、1793.9時間で、前年度に比べ、訪問回数は692回減少し、訪問時間は518.9時間減少した。

実人数は54人で、前年度より7人減少した。12月までの新規の受入れは6人（前年度19人）、中止が11人（前年度13人）であった。

自費訪問は10人（前年度10人）で、障害の対象者は今年度もなかった。

稼働日数は、12月までに215日（前年度1年間341日）であり、1月当たりの稼働日としても、7日減少している。当事業所の人員体制で、休日訪問を積極的に受けることができなかった。

### 事業別訪問回数及び派遣時間の比較（3年間）

事業区分	元年度			30年度			29年度		
	実人数 (人)	訪問回数 (回)	訪問時間 (時間)	実人数 (人)	訪問回数 (回)	訪問時間 (時間)	実人数 (人)	訪問回数 (回)	訪問時間 (回)
介護給付	25	953	833.3	26	1683	1392.3	21	1878	1425.0
予防給付	-	-	-	-	-	-	13	287	213.8
生活支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合事業	29	1054	789.6	32	1155	867.4	23	781	583.5
身体障害	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
自費	10	186	171.0	10	47	53.1	5	61	63.6
合計	64 10名重複	2193	1793.9	68 7名重複	2885	2312.8	62 4名重複	3007	2285.9

別表1 訪問介護実績



#### 4 職員研修・会議の状況

【外部研修】 なし

##### 【事業所内研修】

研修名	年月日	参加者
接遇・マナー	31. 04. 10	常勤 2人 非常勤 3人
長寿会全体会議 H31年度事業計画・心得について	31. 04. 25	常勤 2人 非常勤 3人
食中毒予防のための3原則 感染症の予防について	1. 05. 09	常勤 2人 非常勤 3人
介護技術の基本 コミュニケーション	1. 06. 13	常勤 2人 非常勤 3人
熱中症について	1. 07. 11	常勤 2人 非常勤 2人
119通報マニュアルについて	1. 08. 08	常勤 2人 非常勤 2人
認知症について	1. 09. 12	常勤 2人 非常勤 2人
インフルエンザの予防 感染症予防について	1. 11. 14	常勤 2人 非常勤 2人

##### 【会 議】

ヘルパー会議（月1回）	10回	訪問介護計画の徹底 情報交換、連絡事項 事業所内研修	常勤 2人 非常勤 3人
-------------	-----	----------------------------------	-----------------

#### 5 実習の受入状況

養成校	期間	日数（日）	人数
下関福祉専門学校	11月20～22日	3	1人

別表 1

## 訪問介護実績

令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

稼働日数	令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)												合計	構成比
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
介護保険 訪問内容	回数	22	33	37	37	24	28	31	30	29	28	0	215	
	時間	29.0	25.0	33.0	32.5	21.0	23.5	27.5	26.0	25	24	0	306	時間/1回
	回数	53	52	63	59	53	70	78	72	76	71	0	647	時間/1回
	時間	43.5	41.5	52.3	50	48.8	62.5	71.3	67.0	68.1	61.8	0	566.8	0.88
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護 実人員	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	回数	86	81	100	96	77	98	109	102	105	99	0	953	
	時間	72.5	66.5	85.3	82.5	69.8	86	98.8	93	93.1	85.8	0	833.3	46.45%
	介護度1	11	12	11	12	10	11	11	10	11	10	0	11	
	介護度2	2	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	4	
	介護度3	0	0	2	2	1	1	1	2	2	1	0	3	
	介護度4	1	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	1	
	介護度5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	14	15	16	17	15	15	15	15	16	14	0	25	実人数
	時間	11	9	8	9	8	9	9	8	8	7	0	86	時間/1回
総合事業 訪問内容	回数	8.3	6.8	6.0	6.8	6.0	6.8	6.8	6.0	6.0	5.3	0	64.8	8.21%
	時間	90	114	103	116	89	90	111	97	75	83	0	968	時間/1回
	回数	67.5	85.5	77.3	87.1	66.8	67.5	83.3	72.8	55.5	61.5	0	724.8	91.79%
	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
	回数	101	123	111	125	97	99	120	105	83	90	0	1,054	
	時間	75.8	92.3	83.3	93.9	72.8	74.3	90.1	78.8	61.5	66.8	0	789.6	44.0%
	非該当	7	6	6	6	5	5	4	4	4	4	0	5	
	要支援1	5	5	5	5	7	7	8	8	8	8	0	10	
障害者 訪問内容	要支援2	11	13	13	12	10	9	11	11	7	9	0	14	
	計	23	24	24	23	22	21	23	23	19	21	0	29	実人数
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	実人数
自費	計	20	22	18	22	4	18	22	21	16	23	0	186	
	回数	17.6	21.8	15.8	22.8	4.8	17.1	18.9	17.8	15.4	19.0	0	171.0	9.5%
	時間	2	4	2	4	3	2	3	3	3	5	0	10	実人数
	回数	207	226	229	243	178	215	251	228	204	212	0	2193	
	時間	165.9	180.6	184.4	199.2	147.4	177.4	207.8	189.6	170.0	171.6	0.0	1793.9	100.0%
合計(A+B+C+D)													1793.9	100.0%

令和元年度 長寿園居宅介護支援事業報告書



## 令和元年度 長寿園居宅介護支援事業報告書

令和元年も、特定事業所加算については、義務付けられた要件をクリアしながら継続して算定し、当事業所の基本方針に沿って業務を遂行した。

また、元年度は、3名共に、介護支援専門員証の更新年度であり、各自が積極的、計画的に研修に参加すると共に、事業所内で必ず報告会を行い、知識を深めた。

認知症を患っている利用者や老老介護世帯の支援、困難事例、終末期の支援等、支援内容は多岐に渡るが、関係者間での連携やサービスの調整を図り、その人らしく在宅生活が送れるように対応した。

### 1 事業所の概要

名 称	長寿園居宅介護支援事業所
住 所	山陽小野田市大字小野田 11324 番地 10
事業開始日	平成 12 年 4 月 1 日

### 2 サービス提供体制

居宅管理者	1 人	(主任介護支援専門員兼務)
主任介護支援専門員	1 人	介護支援専門員 2 人

### 3 サービスの実施状況

	令和元年度			30 年度		
	居宅	予防	合計	居宅	予防	合計
居宅サービス計画の作成	1.348	207	1.141	1.387	239	1.148
要介護認定調査	65	51	16	11	5	16
		14				

居宅サービス計画の作成件数は、前年度より 7 件減少したが、月平均件数では、当事業所が目標に挙げた担当件数（介護支援専門員 3 人で 95 件）に達している。

介護予防サービス計画の作成に関しては、前年度より 32 件減少しており、月平均件数は 17 件であり、目標に挙げた担当件数（月平均 18 件）に達しなかった。今後も、各ケアマネの経験年数や業務の実情等を配慮しながらも、積

極的に受け入れを行っていく。

認定調査の件数については、市からの委託が前年度より増え、全体数では49件増となっている。

別表1 居宅サービス計画・介護予防サービス計画作成実績表

別表2 要介護認定調査実績

#### 4 会議等への出席

地域ケア会議・事例検討会	7回
ケアマネジャー連絡会議	11回
地域包括支援センター運営協議会	2回
在宅医療・介護連携推進研修会	3回
在宅医療介護連携推進協議会・システム部会	3回
職員全体会議	1回

#### 5 事業所内会議の開催

居宅会議	12回
定例会議	35回

#### 6 研修会参加状況

研修名	年月日	場所	参加者
介護支援専門員連絡協議会 総会	令和元年 5.14	不二輸送機ホール	3人
介護支援専門員・更新研修 I	令和元年 6.10～9月 まで 計8回	山口県セミナーパーク	2人
介護支援専門員・更新研修 II	令和元年 7.10～10月 まで 計5 回	山口県セミナーパーク	1人
介護予防のための地域ケア 個別会議	令和元年 8.22	市役所第5会議室	1人
介護支援専門員資質向上研 修会	令和元年 9.6	市役所3回大会議室	3人
認定調査員研修	令和元年 9.10	湯田温泉 翠山荘 カトレア	2人

地域医療連携カフェ	令和元年 9.11	山口労災病院講堂	1人
主任介護支援専門員更新研修	令和元年 10.4～ 12月まで計 8回	山口県セミナーパーク	1人
在宅医療・介護普及啓発講演会	令和元年 12.8	不二輸送機ホール	1人

別表 1

令和元年度 居宅介護計画書作成実績  
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	比率		
	作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数		作成件数				合計	比率
	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅	当月	月遅				
介護 1	58		58		60	1	56		59	1	56		55		52		53		54		52		53		54		679	59.5%
介護 2	19		17		18		15		18		20	1	21	1	23		23		22		23		23		22		234	20.5%
介護 3	6		7	1	8		10		9	1	11		11		10		12		13		10		12	1	13		118	10.3%
介護 4	8		6	1	7		9	1	8		7		6		7		8		8		7		8		8		93	8.1%
介護 5	1		1		1		1		1		2		1		2		2		2		2		2		2		17	1.5%
小計(A)	92	0	89	2	94	0	91	0	95	2	93	0	94	1	94	0	98	1	99	0	94	0	98	1	99	0	1,141	月平均 95
支援 1	4		4		4		4		3		5		4		5		4		4		5		4		4		48	23.2%
支援 2	12		13		13		12		11		12		11		12		13		14		12		13		14		147	71.0%
事業対象者	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		12	5.8%
予防介護	17	0	18	0	18	0	17	0	15	0	18	0	16	0	18	0	18	0	19	0	18	0	18	0	19	0	207	月平均 17
小計(B)	17		18		18		17		15		16		16		18		16		18		18		18		19		207	17
合計(A+B)	109		109		112		108		112		109		111		112		117		118		112		117		118		1,348	112



別表 2

要介護認定調査実績  
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率	30年度 実績
在宅利用者	3	2	6	7	2	3	5	6	6	3	6	2	51	78.5%	11
施設利用者	0	2	0	0	0	0	0	4	5	1	2	0	14	21.5%	5
合計	3	4	6	7	2	3	5	10	11	4	8	2	65		16



令和元年度 おのだ在宅介護支援センター事業報告書

(山陽小野田市地域包括支援センター サブセンター)



令和元年度 おのだ在宅介護支援センター事業報告書  
(山陽小野田市地域包括支援センター サブセンター)

おのだ在宅介護支援センターは、山陽小野田市地域包括支援センターサブセンターとして、須恵校区・小野田校区を担当し、業務にあたっている。市の事業計画に添って、介護予防・日常生活支援、一般介護予防事業、総合相談支援の業務を行った。

重点目標にあげた「高齢者の、状態とニーズに応じた介護予防・自立支援に繋がる関りを、居宅介護支援事業所と連携して行う」については、主に居宅訪問に努め、高齢者の生活状況や意向を把握し、介護予防に向けた生活支援を行った。要介護の認定者へ、介護保険制度の説明と、居宅介護支援事業所への引継ぎを行った。

担当地区の民生福祉委員、関係機関等との連携は、会議や研修に参加するとともに、高齢者や障害者の生活支援に協働して関わった。

相談業務に必要な研修を受講し、地域包括支援センターが開催する会議への参加で、資質向上に務めた。

1 施設の概要

名 称	おのだ在宅介護支援センター
住 所	山陽小野田市大字小野田 1 1 3 2 4 番地 1 0
事業開始日	平成 3 年 1 月 1 日 サブセンター委託事業開始平成 1 8 年 4 月 1 日
建 物	鉄筋コンクリート造平家建 8.6 8 m <sup>2</sup> 相談室 1
事 務 室	特別養護老人ホーム長寿園内 在宅支援室

## 2 サービス提供体制（職員配置）

センター長(長寿園園長兼務)
介護支援専門員 1人（山陽小野田市地域包括支援センター在籍出向職員）

## 3 サービスの実施状況

### （1）介護予防・日常生活支援総合事業

#### ① 介護予防支援事業 要支援 1・2、事業対象者

H31年度 (R1年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実人数
プラン 作成件数	10	2	2	4	3	8	8	4	4	3	6	2	56	61 人
給付 管理件数	48	46	46	43	43	45	43	45	45	43	43	40	530	
										H30年度	プラン件数 31	56 人		
											給付管理数 541			

令和元年度に担当した介護予防支援事業給付管理数は、530件で、月平均44.2件（前年度45.1件）であった。

サービス利用した実人数は61人（前年度56人）であり、介護予防サービス支援計画作成件数は56件（前年度31件）となった。要支援認定の有効期間2年間になったことにより、昨年度の計画作成数が減少していた。

新規に担当した人数は15人、担当を終了した人数は20人。終了の理由は介護給付への移行14人、入院1人、転出1人、サービス利用中止は4人であった。

利用したサービス内容は、訪問介護のみ2人、通所介護・通所リハのみ32人、福祉用具貸与のみ6人。福祉用具と訪問リハビリ、通所介護と短期入所など、複数のサービスを合わせて利用した人数は21人であった。訪問看護の利用者はなかった。

調整で関わったサービス提供事業所は、訪問介護7ヶ所、通所介護18ヶ所、通所リハ4ヶ所、福祉用具4ヶ所、訪問リハ1ヶ所、短期入所1ヶ所であった。

## ② 一般介護予防事業

地域で、継続して介護予防が取り組める「いきいき百歳体操」への参加の声掛けを行い、会場では地域包括支援センター職員と共に参加者の体力測定を行った。早い段階で物忘れを自身で確認できる「あたまの健康チェック」と、物忘れを予防できる「頭の若返り教室」で地域包括支援センターの補助を行った。

## (2) 包括的支援事業

### ① 総合相談支援事業

相談の内容は、介護保険制度やサービス利用に関してが多く、施設入所、配食サービス、認定申請についても対応を行った。

相談者は、本人とサービス提供事業者が多く、同居独居に関わらず家族からの問い合わせも増えている。

実態把握の件数は下表の通り

R1年度	1期	2期	3期	4期	合計
実態把握 件数	134件	133件	141件	145件	553件
				H30年度	565件

### ② 権利擁護業務

認知症等により、金銭管理、生活上の適切な判断やサービスの選択等が困難な高齢者に、関係機関と連携を取り、権利擁護事業へ繋げるよう活動した。

#### 4 会議出席

地域包括支援センター連絡会	7回
地域ケア会議事例検討会	7回
山陽小野田市民生児童委員会(第2区)	6回
長寿園居宅支援事業所居宅会議	12回

#### 5 研修の状況

研修名	年月日	場所
山口県マネジメント研究大会 「つながる・支える 医療介護の連携マネジメント」	R1. 10. 26	県セミナーパーク
ケアマネ連絡協議会 「ICT活用事例」	R2. 2. 21	特別養護老人ホーム 長寿園
スーパーバイザー研修 山陽小野田市地域包括 支援センター	R1. 5. 17 R1. 7. 19 R1. 9. 20 R1. 11. 15 R2. 1. 17	山陽小野田市役所
令和元年度 在宅医療・介護連携推進研修会	H31. 4. 18 R1. 7. 18 R1. 10. 18.	山陽小野田市役所